科目名	Pre-production seminar(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	実際にクライアント様から発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら進めていき作品を完成させる						
到達目標	発注を頂いたクライアント様からの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。 その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容ガイダンス 第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	5月13日	講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	5月20日	講義・演習	第1クール実習2	第1クールコンペに向けて録音、ミックス
4	5月27日	講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
5	6月3日	講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
6	6月10日	講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
7	6月17日	講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
8	6月24日	講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
9	7月1日	講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
10	7月8日	講義・演習	第3クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
11	7月15日	講義・演習	第3クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
12	7月22日	講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13	8月26日	講義・演習	夏休み課題発表、前後期間課題発表	前後期間課題制作
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習　時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pre-production seminar(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	10月21日	講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	10月28日	講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4	11月4日	講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5	11月11日	講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6	11月18日	講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7	11月25日	講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8	12月2日	講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9	12月9日	講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10	12月16日	講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11	1月13日	講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12	1月20日	講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13	2月3日	講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	春休み課題制作
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習　時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中村惣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとしてロック系バンドの作品を多く手がける						
授業の学習内容	前期は、ボーカルレコーディングの実技に重点を置き、レコーディング基礎技術の習得						
到達目標	ボーカルレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	スタジオの機材の説明　機材の名前と基礎的操作方法を覚える事ができる	機材名の復習
2	4月21日	講義・演習	ProToolsの説明　ProToolsの基礎操作方法を覚える事ができる	protoolsの操作方法の復習
3	5月12日	講義・演習	セッティングとボーカルレコーディング　実際にレコーディングしてみる	ボーカルレコーディングのセッティング等の復習
4	5月19日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
5	5月26日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	コンプの操作方法の復習
6	6月2日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	コンプの操作方法の復習
7	6月9日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のリバーブの使い方を覚える事ができる	リバーブの操作方法の復習
8	6月16日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のディレイの使い方を覚える事ができる	ディレイの操作方法の復習
9	6月23日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
10	6月30日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
11	7月7日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
12	7月14日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
13	8月25日	講義・演習	ボーカルレコーディングテスト　実技＆筆記	ボーカルレコーディングの復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中村惣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとしてロック系バンドの作品を多く手がける						
授業の学習内容	後期は色々な楽器のレコーディングの実技をし、レコーディング技術の習得						
到達目標	バンドレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ProToolsの操作方法　ショートカットを覚えることができる	protoolsのショートカットの復習
2	10月13日	講義・演習	AG 弾き語りRec　AG,弾き語りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
3	10月20日	講義・演習	EG Rec EG録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
4	10月27日	講義・演習	Bass Rec　Bass録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
5	11月3日	講義・演習	Drum Rec　Drum録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
6	11月10日	講義・演習	Drum Rec　Drum録りを実践できる	Drum録りのセッティング表の作成(準備学習)
7	11月17日	講義・演習	Bass Rec　Bass録りを実践できる	Bass録りのセッティング表の作成(準備学習)
8	11月24日	講義・演習	Gtr Rec　Gtr録りを実践できる	Gtr録りのセッティング表の作成(準備学習)
9	12月1日	講義・演習	バンドレコーディング　Drum,Bass録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
10	12月8日	講義・演習	バンドレコーディング　Gtr,Key,Vo録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
11	12月15日	講義・演習	Mix時のEQ,コンプ、リバーブ等の使い方を覚える	1/24に聴かせられるように個人またはグループでMixをしておく
12	1月12日	講義・演習	MIX 確認　各個人またグループのMIXを聞き比べる	Mixの修正
13	2月2日	講義・演習	楽器録音テスト　実技&筆記	レポート
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DJ Play Tech(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	DJ機材についての基本的な操作方法・練習方法およびDJとして求められる基礎テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル（スクラッチ、曲のつなぎ等）を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	機材について知る 基礎① 各部名称・機能について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月13日	講義・演習	機材について知る 基礎② 操作方法について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	5月20日	講義・演習	楽曲について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	5月27日	講義・演習	機材を使った実習　基礎①　曲のプレイ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月3日	講義・演習	機材を使った実習　基礎②　曲の切り替え	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月10日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて①-1　基本概念について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	6月17日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて①-2　基本に沿った実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	6月24日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて②-1　応用テクニックについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月1日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて②-2 応用テクニックを用いた実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月8日	講義・演習	スローテンポの曲のつなぎ方について　説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	7月15日	講義・演習	ミドルテンポの曲のつなぎ方について　説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	7月22日	講義・演習	アップテンポの曲のつなぎ方について　説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月26日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Play Tech(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	DJ機材についての基本的な操作方法・練習方法およびDJとして求められる基礎テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル（スクラッチ、曲のつなぎ等）を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月15日	講義・演習	好みのジャンルを決める	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月22日	講義・演習	カットインを使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	10月29日	講義・演習	カットインを使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月5日	講義・演習	ループ機能を使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月12日	講義・演習	ループ機能を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月19日	講義・演習	Low Pass フィルターを使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	11月26日	講義・演習	Low Pass フィルターを使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月3日	講義・演習	Reverb を使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月10日	講義・演習	Reverb を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	12月17日	講義・演習	HOT CUE を使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月14日	講義・演習	HOT CUE を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月21日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Music Creation(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	DJのプレイスタイルの変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月13日	講義・演習	DJ機材の変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	5月20日	講義・演習	『DJ』に適した楽曲について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	5月27日	講義・演習	『DJ』に特化された楽曲アレンジについて学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月3日	講義・演習	既存楽曲を『DJ』に特化するためアレンジを考察する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月10日	講義・演習	スクラッチについて基本概念を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	6月17日	講義・演習	スクラッチを使用して基本に沿って演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	6月24日	講義・演習	スクラッチについて応用手法を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月1日	講義・演習	スクラッチの応用手法を用いて演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月8日	講義・演習	Mixの基本について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	7月15日	講義・演習	MixCDを聴いて『楽曲』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	7月22日	講義・演習	MixCDを聴いて『つなぎ』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月26日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Music Creation(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月15日	講義・演習	レコードプールから好みの曲を選曲する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月22日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする①　基本に沿った実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	10月29日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする② 応用テクニックを用いた実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月5日	講義・演習	rekordboxの基本概念について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月12日	講義・演習	rekordboxとDJ機材のシンクについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月19日	講義・演習	rekordboxとDJ機材を使用してプレイする	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	11月26日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について　基本概念	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月3日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について　実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月10日	講義・演習	自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	12月17日	講義・演習	自分の演奏をプレイバックして改善点を探す	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月14日	講義・演習	前回の改善を踏まえて自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月21日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	Expression A(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	予習課題曲練習
2	5月13日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月20日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	5月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	6月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	6月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	6月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	6月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	7月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	7月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
11	7月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
12	7月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
13	8月26日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	9月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニック（メジャー／マイナー）の構造、ポジションを覚え、 複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自分のトレーニングメニューを作成する方法、 パターン練習実践1。	メジャースケールを予習
2	5月13日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。	自分のトレーニングメニューを作成
3	5月20日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。	オルタネイト・ピッキングで練習する
4	5月27日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。	課題スケールの復習、練習メニューの見直し。
5	6月3日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。	指板上のポジションを書き出してみる
6	6月10日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。	指板上の2-3ポジションを覚える
7	6月17日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	指板上の4-5ポジションを覚える
8	6月24日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	指板上の6-7ポジションを覚える
9	7月1日	講義・演習	ペンタトニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのパターン1を2つのキーで書いてみる
10	7月8日	講義・演習	ペンタトニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのパターン2を2つのキーで書いてみる
11	7月15日	講義・演習	ペンタトニック・パターン3を覚える。 HO上行，PO下行フレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン3を2つのキーで書いてみる
12	7月22日	講義・演習	ペンタトニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン4を2つのキーで書いてみる
13	8月26日	講義・演習	ペンタトニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、バンプでフレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン5を2つのキーで書いてみる
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間（30分～）で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し、演奏できるようになるための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。	チャプター内のエクササイズの復習
2	4月25日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。	チャプター内のエクササイズの復習
3	5月9日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	5月16日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	5月23日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	5月30日	講義・演習	♭keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	6月6日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	6月13日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	6月20日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月4日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	7月11日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	7月18日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月22日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間（30分～）で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Dr Control Theory(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	グリップ＆フォーム、フィンガーコントロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月21日	講義・演習	フットワークの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月12日	講義・演習	アクセレーションコントロール16分音符（3種類）の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月19日	講義・演習	アクセレーションコントロール3連符（2種類）の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月26日	講義・演習	ダブルストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月2日	講義・演習	5.7.9.11.13ストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月9日	講義・演習	バズ、バズ5、バズ7の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月16日	講義・演習	シングルパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月23日	講義・演習	ダブルパラディドル、トリプルパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月30日	講義・演習	フラム、フラムアクセント16分&3連符の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月7日	講義・演習	フラムパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月14日	講義・演習	フラムタップ、ラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月25日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間（30分～）で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。 および、シンセサイザーの基礎を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	4月21日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	5月12日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	5月19日	講義・演習	課題曲1の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	5月26日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	6月2日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	6月9日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	6月16日	講義・演習	課題曲2の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	6月23日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	6月30日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	7月7日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	7月14日	講義・演習	課題曲3の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
3	10月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
4	10月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	11月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	11月11日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	11月18日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	11月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	12月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	12月9日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
11	12月16日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月20日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	1月27日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング（個人面談なども有）、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月10日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月17日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	アイオニアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	maj7バンプ進行で練習
2	10月15日	講義・演習	ドリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
3	10月22日	講義・演習	フリジアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
4	10月29日	講義・演習	リディアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	maj7#11バンプ進行で練習
5	11月5日	講義・演習	ミクソリディアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	dom7バンプ進行で練習
6	11月12日	講義・演習	エオリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
7	11月19日	講義・演習	ロクリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7b5バンプ進行で練習
8	11月26日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の4種類のアルペジオを弾く	ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習
9	12月3日	講義・演習	ディミニッシュスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	dim7バンプ進行で練習
10	12月10日	講義・演習	ホールトーンスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	II7b5バンプ進行で練習
11	12月17日	講義・演習	ハーモニックマイナーの構造を理解しポジションを覚える。	minor−major7バンプ進行で練習
12	1月14日	講義・演習	メロディックマイナーの構造を理解しポジションを覚える。	minor−major7バンプ進行で練習
13	1月21日	講義・演習	オルタードスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	dom7b9,dom7#9バンプ進行で練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間（30分~）でパターン練習、アドリブ練習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようになるための講義実習を行う。						
到達目標	1、メジャースケール、マイナースケールとそのダイアトニックコードの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 2、ブルースのハーモニーとそのコード進行、フレージングを理解し、演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	10月10日	講義・演習	ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	10月17日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	10月31日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月7日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月14日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	11月21日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	11月28日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月5日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	12月12日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	12月19日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月16日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月23日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Dr Control Theory(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ラフ、4.5ストロークラフの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月13日	講義・演習	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月20日	講義・演習	ドラッグパラディドルNo.1.2の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月27日	講義・演習	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月3日	講義・演習	ルーディメンツ総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月10日	講義・演習	チェンジアップの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月17日	講義・演習	2拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月24日	講義・演習	4拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月1日	講義・演習	3拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月8日	講義・演習	3拍4連on4/4の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月15日	講義・演習	5拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月12日	講義・演習	7拍フレーズの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。与えられた楽曲に対して、どのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	10月13日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	10月20日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	10月27日	講義・演習	課題曲4の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	11月3日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	11月10日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	11月17日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	11月24日	講義・演習	課題曲5の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	12月1日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	12月8日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	12月15日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	1月12日	講義・演習	課題曲6の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Basic Keyboard(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIYAVI、柴崎コウ、指田郁哉など、幅広いジャンルのサポートキーボーディスト、シンガーソングライターとして活躍。ブルースピアニストとして海外ミュージシャンのレコーディング、ツアーに多数参加。企業やTVドキュメンタリーの楽曲を制作している。						
授業の学習内容	キーボードを演奏するための基礎と知識を学ぶ。学ぶ事により発声練習、弾き歌い、作編曲、音楽理論の理解度を上げる事ができ、より自由度の高い音楽性や表現方法に役立ててほしい授業です。						
到達目標	・初心者は譜面の読み書き、簡単な曲やコード進行を両手で弾ける様になる。音楽理論の理解度が深まること。 ・経験者は演奏技術、アレンジメントの向上を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	4月25日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月9日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月16日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月23日	講義・演習	Ⅰ－Ⅳ－Ⅴ－Ⅰ、Ⅰ－Ⅴ－Ⅳ－Ⅰ、 Ⅳ－Ⅰ－Ⅴ－Ⅰ、Ⅴ－Ⅰ－Ⅳ－Ⅰ	T、SD,Dの機能を復習、練習。
6	5月30日	講義・演習	7th、Ⅱm－Ⅴ7－Ⅰ、Ⅰ－Ⅳ－Ⅱm－Ⅴ7－Ⅰの動きを学ぶ。	音の動き（Ⅱ,Ⅴ,Ⅰ）の感覚を復習、練習。
7	6月6日	講義・演習	Ⅵm、ⅥMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅥmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月13日	講義・演習	Ⅲm、ⅢMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅢmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月20日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	7月4日	講義・演習	m7♭5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月11日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月18日	講義・演習	作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。	復習と予習。
13	8月22日	講義・演習	作編曲の実践。	イベントの準備。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	Basic Keyboard(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIYAVI、柴崎コウ、指田郁哉など、幅広いジャンルのサポートキーボーディスト、シンガーソングライターとして活躍。ブルースピアニストとして海外ミュージシャンのレコーディング、ツアーに多数参加。企業やTVドキュメンタリーの楽曲を制作している。						
授業の学習内容	基礎知識、演奏力をもとに応用力をつけていき、発声練習、弾き歌い、作編曲、音楽理論の理解度を深め、 より自由度の高い音楽性や表現方法に役立ててほしい授業です。						
到達目標	表現力へ結びつく技術や知識を学び、より応用力を高めた演奏する事ができる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	トライアドコードの転回形と7thコードのボイシングについて。	復習、転回形での練習。
2	10月10日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、転回形での練習。
3	10月17日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、パラディドル練習。
4	10月31日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
5	11月7日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
6	11月14日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
7	11月21日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
8	11月28日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
9	12月5日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
10	12月12日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
11	12月19日	講義・演習	伴奏の実践。ハーモニー、リズム、表現方法。	伴奏する事で得た体感をまとめ復習、予習をする。
12	1月16日	講義・演習	コードアレンジメントについて。発展方法。	復習をし、考察してみる。
13	1月23日	講義・演習	作編曲の実践。	イベントの準備。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	DTM(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アーティストサポート等、ギタリストとして活動する傍ら作曲活動もスタートさせる。乃木坂46、AKB48をはじめとする様々なアーティストへの楽曲提供や、多数のアニメ作品、歌謡曲等へギターで参加するなど幅広く活動中。						
授業の学習内容	現代ミュージシャンの必須スキルであるDAWの使用方法をLogicを用いて学ぶ。 併せて打ち込み、レコーディング、ミキシング方法など実践的な内容を交えながら、自身の作曲、編曲スキルに繋げられるよう授業を展開する。						
到達目標	DAWで作曲、編曲、ミックス作業の基本的操作を行えるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	スタートアップガイダンス目的と概要の説明・Mac基礎	広義での課題を作成
2	4月21日	講義・演習	Logic pro X　立ち上げ・セッション作成各種ウィンドウ説明	講義で作成したものを各自で作成
3	5月12日	講義・演習	各種ウィンドウ説明・実践	講義で作成したものを各自で作成
4	5月19日	講義・演習	ドラムパート基礎・打ち込み作成	講義で作成したものを各自で作成
5	5月26日	講義・演習	ドラムパート・リアルタイムレコーディング	講義で作成したものを各自で作成
6	6月2日	講義・演習	ドラマートラックについて	講義で作成したものを各自で作成
7	6月9日	講義・演習	ベースパート基礎・打ち込み作成	講義で作成したものを各自で作成
8	6月16日	講義・演習	シャッフルビートの打ち込み	講義で作成したものを各自で作成
9	6月23日	講義・演習	ピアノパート基礎・コードの構成音について	講義で作成したものを各自で作成
10	6月30日	講義・演習	コード進行の打ち込み	講義で作成したものを各自で作成
11	7月7日	講義・演習	ダイアトニックコードについて	講義で作成したものを各自で作成
12	7月14日	講義・演習	テスト前復習	テスト準備としてLogicの操作を授業外で復習
13	8月25日	講義・演習	テスト	テスト準備としてLogicの操作を授業外で復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DTM(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アーティストサポート等、ギタリストとして活動する傍ら作曲活動もスタートさせる。乃木坂46、AKB48をはじめとする様々なアーティストへの楽曲提供や、多数のアニメ作品、歌謡曲等へギターで参加するなど幅広く活動中。						
授業の学習内容	現代ミュージシャンの必須スキルであるDAWの使用方法をProtoolsを用いて学ぶ。 併せて打ち込み、レコーディング、ミキシング方法など実践的な内容を交えながら、自身の作曲、編曲スキルに繋げられるよう授業を展開する。						
到達目標	DAWで作曲、編曲、ミックス作業の基本的操作を行えるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	セッション＆セットアップ	広義での課題を作成
2	10月13日	講義・演習	セッション作りについて学ぶ	講義で作成したものを各自で作成
3	10月20日	講義・演習	エディット基礎その①	講義で作成したものを各自で作成
4	10月27日	講義・演習	エディット基礎その②	講義で作成したものを各自で作成
5	11月3日	講義・演習	エディット基礎(まとめ)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月10日	講義・演習	Busについて	講義で作成したものを各自で作成
7	11月17日	講義・演習	プラグインの知識について	講義で作成したものを各自で作成
8	11月24日	講義・演習	サードパーティーのプラグインについて	講義で作成したものを各自で作成
9	12月1日	講義・演習	リバーブについて	講義で作成したものを各自で作成
10	12月8日	講義・演習	ディレイについて	講義で作成したものを各自で作成
11	12月15日	講義・演習	ミックスダウンの方法	講義で作成したものを各自で作成
12	1月19日	講義・演習	マスタリングについての考え方	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
13	2月2日	講義・演習	テスト	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作編曲法intro(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	作曲未経験者から作曲初学者を対象に、 次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、 抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れる様になる。						
到達目標	「メロディを作る発想の仕方のコツを身に着ける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	自由にメロディを作ってみる・メロディ作成時の心構え・作曲と編曲の違いを知る	課題の仕上げと疑問点の整理
2	10月15日	講義・演習	全音符と2分音符のみでのメロディ作成・音高の変化を持った，高揚感のあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
3	10月22日	講義・演習	四分音符迄のメロディ作成・休符も含めたリズム緩急を覚え，メリハリのあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
4	10月29日	講義・演習	八分音符迄のメロディ作成・順次進行と跳躍進行の使い分・分散和音を用い，躍動感のあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
5	11月5日	講義・演習	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来る様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
6	11月12日	講義・演習	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする	課題の仕上げと疑問点の整理
7	11月19日	講義・演習	内音と外音・どういうコードがメロと合うのか・内音のみでの調和的・力強いメロディ作成をする	課題の仕上げと疑問点の整理
8	11月26日	講義・演習	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし，変化のあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
9	12月3日	講義・演習	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし，意外性のあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
10	12月10日	講義・演習	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし，インパクトのあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
11	12月17日	講義・演習	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつけれる様にする	課題の仕上げと疑問点の整理
12	1月14日	講義・演習	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする	課題の仕上げと疑問点の整理
13	1月21日	講義・演習	短音階①・和声的短音階と旋律的短音階が何故あるのか？・ドミナントモーションの意味・和声的短音階での進行感のある作曲をする	課題の仕上げと疑問点の整理
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題の仕上げと疑問点の整理
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題の仕上げと疑問点の整理
準備学習　時間外学習			課題の仕上げと疑問点の整理	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Analog Recording Basic(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	早乙女正雄
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アルファレコード録音部～フリーランスエンジニア						
授業の学習内容	アナログレコーディング機材を使用してマルチトラック録音の基礎を学びます。						
到達目標	レコーディングを経験して音楽制作の楽しさとやりがいを見つけます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	スタジオ環境と機材について解説	ステレオの概念
2	4月25日	講義・演習	SSLコンソールについて解説	信号の流れを把握
3	5月9日	講義・演習	CUEについて解説	ヘッドホンモニターを把握
4	5月16日	講義・演習	マルチトラックレコーディングについて解説	作業手順を把握
5	5月23日	講義・演習	マルチトラックレコーダーについて解説	ダビングの概念
6	5月30日	講義・演習	マイクロホンについて解説	使用方法を把握
7	6月6日	講義・演習	マイクアンプとレックフェーダーについて解説	適正ボリュームを把握
8	6月13日	講義・演習	パンポットとモニターフェーダーについて解説	ステレオバランスを把握
9	6月20日	講義・演習	イコライザーについて解説	音の変化を把握
10	7月4日	講義・演習	AUXとインサートについて解説	外部機器の接続を把握
11	7月11日	講義・演習	コンプレッサーについて解説	音の変化を把握
12	7月18日	講義・演習	リバーブについて解説	音の変化を把握
13	8月22日	講義・演習	ミックスダウンについて解説	ステレオバランスの把握
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して使用機材の使い方を学ぶ	音楽バランスの特徴を把握
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して使用機材の使い方を学ぶ	音楽バランスの特徴を把握
準備学習　時間外学習			クラスメイトと直接話して、たくさんコミュニケーションをとってください。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Analog Recording Basic(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	早乙女正雄
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アルファレコード録音部～フリーランスエンジニア						
授業の学習内容	アナログレコーディング機材を使用してマルチトラック録音の基礎を学びます。						
到達目標	レコーディングを経験して音楽制作の楽しさとやりがいを見つけます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	マルチトラックレコーディングを実際に行う	前期の復習、本日の予習
2	10月10日	講義・演習	バンドレコーディングを実際に行う	先週の復習、本日の予習
3	10月17日	講義・演習	SSLコンソールを実際に行う	先週の復習、本日の予習
4	10月31日	講義・演習	マルチレコーダーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
5	11月7日	講義・演習	マイクアンプとバスを実際に行う	先週の復習、本日の予習
6	11月14日	講義・演習	パンとフェーダーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
7	11月21日	講義・演習	イコライザーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
8	11月28日	講義・演習	AUXとCUEを実際に行う	先週の復習、本日の予習
9	12月5日	講義・演習	インサートとパッチ盤を実際に行う	先週の復習、本日の予習
10	12月12日	講義・演習	マイクロホンを実際に行う	先週の復習、本日の予習
11	12月19日	講義・演習	コンプレッサーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
12	1月16日	講義・演習	リバーブを実際に行う	先週の復習、本日の予習
13	1月23日	講義・演習	ミックスダウンを実際に行う	後期の復習、期末試験の準備
14	1月30日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pro tools intro(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	SEDIC studios、IRc2studiosにてレコーディングエンジニア・スタジオマネージャーを経験						
授業の学習内容	現在プロの音楽制作現場でデファクトスタンダードとして使用されている録音ソフトであるProTools。その入門というべき初期段階を習得する。初歩ではあるがバージョンアップされても変わらないであろう最もベーシックで、かつ最も大切な事を学ぶ。						
到達目標	コンピュータの立ち上げからベーシックなシステムのセットアップ、ソフトの立ち上げから録音・編集・ミックスまでの基本を一人でも行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	セットアップ、新規セッション作成	レポート
2	4月21日	講義・演習	セッション作成時のルール確認	レポート
3	5月12日	講義・演習	セッション作成時のルール復習、編集の基礎	レポート
4	5月19日	講義・演習	編集の基礎その2	レポート
5	5月26日	講義・演習	編集の基礎その3	レポート
6	6月2日	講義・演習	DAWの基本、他のDAWとの違い	レポート
7	6月9日	講義・演習	デジタルオーディオの基本、アナログとの違い	レポート
8	6月16日	講義・演習	PlugINの基礎その1、EQ・Comp	レポート
9	6月23日	講義・演習	PlugINの基礎その2、EQ・Comp続き	レポート
10	6月30日	講義・演習	PlugINの基礎その3、リバーブ・ディレイなど	レポート
11	7月7日	講義・演習	ミックスダウンその1	レポート
12	7月14日	講義・演習	ミックスダウンその2、マスタリング	レポート
13	8月25日	講義・演習	復習	レポート
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Artist's SNS Management(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGO LIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験あり。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当。						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、 自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション	軽い自己紹介を考えてきてもらう
2	5月7日	講義・演習	ライバーという職業について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
3	5月14日	講義・演習	配信アプリの種類と特色	軽い自己紹介を考えてきてもらう
4	5月21日	講義・演習	事務所契約について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
5	5月28日	講義・演習	配信機材、レコーディング機材	TwitterとInstagramのアカウント作成
6	6月4日	講義・演習	SNS活用術・フォロワーを伸ばすには？	一週間SNS投稿をしてもらい、リーチ数を比較
7	6月11日	講義・演習	SNS実践編～アルゴリズムを知ろう～	メイク、髪型、洋服着こなしなど練習（メイク道具を持ってきてもらう）
8	6月18日	講義・演習	SNS投稿～投稿に必要なアプリ～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
9	6月25日	講義・演習	SNS投稿②～ショート動画を作れるようになろう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
10	7月2日	講義・演習	SNS投稿③～実際に投稿してみよう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
11	7月9日	講義・演習	SNS投稿④～添削会～	マインドセット
12	7月16日	講義・演習	自己プロデュース能力～見た目を磨く～	アカウント作成
13	8月27日	講義・演習	前期テスト、アンケート	アカウント作成
14	9月10日	講義・演習	システム講座（Tik Tok）	アカウント作成
15	9月17日	講義・演習	システム講座実践編（Tik Tok）　編集技術向上	編集アプリダウンロード、編集、投稿。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Artist's SNS Management(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGO LIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験あり。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当。						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、 自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	コミュニケーション能力～傾聴力～	Pocochaはシステムが多いので、小テスト実施
2	10月15日	講義・演習	コミュニケーション能力～話す力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
3	10月22日	講義・演習	コミュニケーション能力～人に好かれる話し方～	授業で教わった内容の復習と事前予習
4	10月29日	講義・演習	コミュニケーション能力～雑談力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
5	11月5日	講義・演習	ライブ配信概論～ライブ配信とは？～	授業で教わった内容の復習と事前予習
6	11月12日	講義・演習	Vライバーについて	授業で教わった内容の復習と事前予習
7	11月19日	講義・演習	配信アプリの仕組み（IRIAM、Pococha）	授業で教わった内容の復習と事前予習
8	11月26日	講義・演習	メンタルを正しく保とう	授業で教わった内容の復習と事前予習
9	12月3日	講義・演習	YouTube概論～YouTubeとは～	授業で教わった内容の復習と事前予習
10	12月10日	講義・演習	YouTube概論～	授業で教わった内容の復習と事前予習
11	12月17日	講義・演習	SNSとYouTubeを上手く使いこなそう	授業で教わった内容の復習と事前予習
12	1月14日	講義・演習	テスト前復習、後期まとめ	良かった点・反省点・改善案　発表
13	1月21日	講義・演習	後期テスト	授業で教わった内容の復習と事前予習
14	2月4日	講義・演習	ライブ配信実践編Tiik Tok②	授業で教わった内容の復習と事前予習
15	2月11日	講義・演習	配信振り返り	授業で教わった内容の復習と事前予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	VOCALOID ゼミ（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	太田晴之
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	作曲家として刀剣乱舞ミュージカル、木村昴、小倉唯、アイカツ、等に楽曲提供						
授業の学習内容	VOCALOID初音ミクを使用してオリジナル曲を作成する。 自分の好きなことを形に残す喜びを実感させて「学ぶ」ことの楽しさを理解させる。						
到達目標	1人1曲オリジナル曲をワンコーラス完成できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	操作方法を覚える前にDTMとボカロを体験する。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
2	4月21日	講義・演習	ループを使った楽曲を作る。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
3	5月12日	講義・演習	同じフレーズにそれぞれの歌詞を入力させる。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
4	5月19日	講義・演習	「しゃくり」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
5	5月26日	講義・演習	「トリル」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
6	6月2日	講義・演習	「ビブラート」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
7	6月9日	講義・演習	声色の調整方法の習得。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
8	6月16日	講義・演習	オリジナル曲制作開始。	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
9	6月23日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
10	6月30日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
11	7月7日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
12	7月14日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
13	8月25日	講義・演習	作品発表	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
14	9月8日	講義・演習	イベントを通じてボーカロイド制作を学ぶ	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
15	9月15日	講義・演習	イベントを通じてボーカロイド制作を学ぶ	授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作
準備学習　時間外学習			授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、登録者数60万人超のYouTuberグループリーダーを務める						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	5月13日	講義・演習	SNS戦略論	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	5月20日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	5月27日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	6月3日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	6月10日	講義・演習	炎上対策	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	6月17日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	6月24日	講義・演習	第1弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	7月1日	講義・演習	第1弾　アナリティクスを読み解こう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	7月8日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	7月15日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	7月22日	講義・演習	第2弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	8月26日	講義・演習	前期振り返り	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	9月9日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	9月16日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、登録者数60万人超のYouTuberグループリーダーを務める						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	10月21日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	10月28日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	11月4日	講義・演習	各種SNSの違い	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	11月11日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	11月18日	講義・演習	第3弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-3	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	11月25日	講義・演習	第3弾　アナリティクスを読み解こう 第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	12月2日	講義・演習	第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	12月9日	講義・演習	第4弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-4	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	12月16日	講義・演習	イベント演習１	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	1月13日	講義・演習	イベント演習２	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	1月20日	講義・演習	イベント演習３	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	2月3日	講義・演習	イベント演習４	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	2月10日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	2月17日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、 セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月26日	講義・演習	Ableton Liveを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月10日	講義・演習	Audio Sampleを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月17日	講義・演習	Audio Sampleを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月24日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	5月31日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月7日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月14日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月21日	講義・演習	リズムの取り方	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月5日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月12日	講義・演習	Ableton Pushを使ったビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
12	8月23日	講義・演習	前期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月30日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月13日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月20日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、 セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	サンプリングについて	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月11日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月18日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	11月1日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月8日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月15日	講義・演習	Masu Upを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月22日	講義・演習	Masu Upを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
8	11月29日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月6日	講義・演習	Samplingでのビートメイク	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月13日	講義・演習	歌詞を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
11	12月20日	講義・演習	後期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月17日	講義・演習	後期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	1月24日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	1月31日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月14日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽制作概論(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	音楽制作関連全般の導入授業 「アナログレコーディング1」との連携授業 座学を中心に基礎知識、基礎用語等を把握する 音楽制作業界、原盤制作、ハードとソフトの概念、デジタルオーディオ等、音楽制作者としての基礎知識を習得する						
到達目標	レコーディング演習を通じ、コミュニケーション力、トラブルシューティグ力、フットワーク等の重要性を把握し、2年次にてさらなる成長への礎とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	音楽制作系コース授業について/就職とデビューについて	自主制作時間として音楽制作に取り組む
2	4月24日	講義・演習	音楽制作業界のメカニズム/スタジオ使用認定テストの説明	自主制作時間として音楽制作に取り組む
3	5月8日	講義・演習	音楽制作プロセス1（原盤制作会社、レコードメーカー、宣伝セクション）	自主制作時間として音楽制作に取り組む
4	5月15日	講義・演習	音楽制作プロセス2～マスタリング（原盤制作会社、レコードメーカー、宣伝セクション）	自主制作時間として音楽制作に取り組む
5	5月22日	講義・演習	ハードウエアとソフトウエア（CPU.RAM.HD.出力装置.入力装置.OS）	自主制作時間として音楽制作に取り組む
6	5月29日	講義・演習	Mac OSとキーボードショートカット	グループミーティングを通して、授業準備を行う
7	6月5日	講義・演習	Voディレクション、OKトラックの作り方/グループ分け	グループミーティングを通して、授業準備を行う
8	6月12日	講義・演習	デジタルオーディオ基礎/ミーティング	グループミーティングを通して、授業準備を行う
9	6月19日	講義・演習	モバイルスタジオシステム説明	グループミーティングを通して、授業準備を行う
10	7月3日	講義・演習	総復習1	グループミーティングを通して、授業準備を行う
11	7月10日	講義・演習	総復習2	グループミーティングを通して、授業準備を行う
12	7月17日	講義・演習	ペーパーテスト	グループミーティングを通して、授業準備を行う
13	8月21日	講義・演習	答え合せ	グループミーティングを通して、授業準備を行う
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽制作概論(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	複数スタジオでの複数グループワークによるレコーディング演習 「アナログレコーディング1」との連携授業 演習を中心にスタジオワーク全般を把握する スタジオワークでのコミュニケションワークの重要性を認識する						
到達目標	レコーディング演習を通じ、コミュニケーション力、トラブルシューティグ力、フットワーク等の重要性を把握し、2年次にてさらなる成長への礎とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	制作演習1-1	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
2	10月16日	講義・演習	制作演習1-2	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
3	10月30日	講義・演習	制作演習1-3	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
4	11月6日	講義・演習	制作演習1-4	Mix作業を自主時間で行う
5	11月13日	講義・演習	試聴会1	マスタリング作業を自主時間で行う
6	11月20日	講義・演習	希望授業内容アンケートに基づく	グループミーティングを通して、授業準備を行う
7	11月27日	講義・演習	希望授業内容アンケートに基づく	グループミーティングを通して、授業準備を行う
8	12月4日	講義・演習	希望授業内容アンケートに基づく	グループミーティングを通して、授業準備を行う
9	12月11日	講義・演習	制作演習2-1	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
10	12月18日	講義・演習	制作演習2-2	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
11	1月15日	講義・演習	制作演習2-3	レコーディングの準備とミュージシャンの手配
12	1月22日	講義・演習	制作演習2-4	Mix作業を自主時間で行う
13	2月5日	講義・演習	試聴会2/2年次の目標提示	マスタリング作業を自主時間で行う
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Foundation(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎 若狭洋佑
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。（レタッチ中心） Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。（ベジェ曲線操作、デザイン中心） デザイン性のある入稿用データ作成ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	macの基本操作、Teamsの利用方法、Keynoteの基本操作理解、自己紹介資料を作成する。	【事前動画説明】macの基本操作方法、Teamsの利用方法、Keynoteの機能説明と基本操作方法
2	4月21日	講義・演習	ワードとエクセルの基本操作理解。ワード（ビジネス文章）/エクセル(タイムテーブル)提出	【事前動画説明】画面収録の方法、Word（文書作成）、Excel（表の作成、表計算）の操作方法
3	5月12日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを理解する。【Ai】【Ps】基本操作（ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡縮、新規作成、保存）	【事前動画説明】AdobeCCログイン方法、PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法
4	5月19日	講義・演習	【Ai】基本操作：選択、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法
5	5月26日	講義・演習	【Ps】基本操作：画像切り抜き、レタッチ、写真補正	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法
6	6月2日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、作成例を観察、トレンドやデザイン性について考える	【事前動画説明】ミニポスター作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、ロゴ作成、入稿用データ作成、デザインのトレンドについて
7	6月9日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、仕上げ、提出	同上
8	6月16日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、作成例を観察、魅力的なグッズとは何か考える□	【事前動画説明】グッズデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、魅力的なグッズとはなにか
9	6月23日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
10	6月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレット課題作成、作成例を観察、多くの情報を整理整頓することに慣れ、美しいデザインを作成する	【事前動画説明】パンフレットデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、情報を整理整頓する
11	7月7日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成	同上
12	7月14日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
13	8月25日	講義・演習	到達度テスト	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			定期的にメディアを通じて雑誌のデザイン、グッズデザインなどを見て自分の好みをよく考える	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Keynote,Microsoft office,Teams,Adobeアプリケーション

科目名	Digital Foundation(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎 若狭洋佑
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	昨今の社会において、デジタルコンテンツを制作・発信する能力は欠かせないものである。 この科目の受講者自身にはデジタルポートフォリオを所持してもらい、自身の活動をPRする映像を制作・発信する。 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。（アニメーション作成・エフェクト適用中心） Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。（カット編集中心） YouTubeに投稿した動画をポートフォリオに掲載して他者に共有できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。	【事前動画説明】STUDIOのアカウント作成～基本操作方法
2	10月13日	講義・演習	【STUDIO】ポートフォリオサイトを仕上げる。提出	同上
3	10月20日	講義・演習	【Pr】Premiereで出来ることを知る。Prの基本操作理解：新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、書き出し	【事前動画説明】Prを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～編集～動画書き出しまで)
4	10月27日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題①　ショート動画作成：カット編集、字幕入力、音楽、書き出し、提出	同上
5	11月3日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題②　Vlog作成：カット編集、字幕入力、音楽、色調補正、書き出し、提出	Vlogに使う動画を撮影してくる
6	11月10日	講義・演習	【Ae】AfterEffectsで出来ることを知る。Aeの基本操作理解：新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、素材の読み込み、エフェクト追加、書き出し	【事前動画説明】Aeを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～アニメ作成～動画書き出しまで)
7	11月17日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題①　キーフレームアニメ作成：素材読み込み、キャラクターアニメーション作成、提出	【事前動画説明】Aeでのキーフレームアニメの作り方、テキストアニメの作り方
8	11月24日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題②　リリックビデオ作成：プリセットを使ったテキストアニメ作成、提出	同上
9	12月1日	講義・演習	【YouTube】YouTubeに動画を投稿する。【STUDIO】ポートフォリオに動画を掲載する。	【事前動画説明】YouTubeへの投稿方法、STUDIOでポートフォリオに動画を掲載する方法
10	12月8日	講義・演習	最終課題選定。自己アピール動画のテーマを選定し映像構成をする。アイデア出しから制作までの手順を理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の参考映像を紹介。アイデア出しから制作までの手順を解説。
11	12月15日	講義・演習	個人制作	同上
12	1月19日	講義・演習	個人制作	同上
13	2月2日	講義・演習	個人制作と最終課題の提出(ポートフォリオに制作した動画を掲載する)　到達度テスト	【事前動画説明】後期で習得したスキルを一通り復習する。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			動画コンテンツに触れて、面白い映像表現、どんな編集をしているか観察しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Teams,STUDIO,Adobeアプリケーション

科目名	Pre-production seminar(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ（コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ（ベーシックアレンジまで）できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	5月13日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材に関しての基礎的な理解とマナーに関しての理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	5月20日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる（クオンタイズ、ベロシティ）	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	5月27日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
5	6月3日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	6月10日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	6月17日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる、状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	6月24日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	7月1日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（コンプ、EQ）/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	7月8日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（リバーブ、ディレイ）/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	7月15日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	7月22日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pre-production seminar(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる（VCO.VCF.VCA）/シンセリード、Bass、PADなどの音色を作ることができる。/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
2	10月21日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる（ADSR,LFO,Matrix,etc）/Drum,ADSRやLFOを使った音色を作ることができる/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
3	10月28日	講義・演習	DAWでシンセのオートメーションを書くことができる/出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる。	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
4	11月4日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	サウンドロゴを作ってくる（素材3パターン）
5	11月11日	講義・演習	出来上がったサウンドロゴを聴いて足りないところを理解できるようになる/映像に音楽をつけることができる（CM、ドラマ）	映像につける音楽を作ってくる
6	11月18日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/発注書から楽曲をつくることができる	発注書にあった音楽を作ってくる
7	11月25日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/ゲーム音楽を作ることができる	ゲーム映像にあった音楽を作ってくる
8	12月2日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
9	12月9日	講義・演習	Mixをするための前準備、セッティング、心構えを理解できる	自分なりのミックスを作ってくる
10	12月16日	講義・演習	ミックスを視聴足りないところを理解できるようになる/音調整のためのエフェクトの基本的な使い方を理解できるようになる	2曲ミックスをしてくる
11	1月13日	講義・演習	マスタリングとは何か理解することができる/ミックスでどのようなオートメーションをすべきか理解できる	1曲ミックスしてくる
12	1月20日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、スタジオシャングリラ、スタジオICCを経て SHANGRI-LA.INC 所属						
授業の学習内容	前期は、ボーカルレコーディングの実技に重点を置き、レコーディング基礎技術の習得						
到達目標	ボーカルレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	スタジオの機材の説明　機材の名前と基礎的操作方法を覚える事ができる	機材名の復習
2	4月21日	講義・演習	ProToolsの説明　ProToolsの基礎操作方法を覚える事ができる	protoolsの操作方法の復習
3	5月12日	講義・演習	セッティングとボーカルレコーディング　実際にレコーディングしてみる	ボーカルレコーディングの復習
4	5月19日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	コンプの操作方法の復習
5	5月26日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	コンプの操作方法の復習
6	6月2日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	リバーブの操作方法の復習
7	6月9日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のリバーブの使い方を覚える事ができる	ディレイの操作方法の復習
8	6月16日	講義・演習	ボーカルレコーディング　歌録り時のディレイの使い方を覚える事ができる	ボーカルレコーディングの復習
9	6月23日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
10	6月30日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
11	7月7日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
12	7月14日	講義・演習	ボーカルレコーディング　レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
13	8月25日	講義・演習	ボーカルレコーディングテスト　実技＆筆記	ボーカルレコーディングの復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	ボーカルレコーディングの復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	ボーカルレコーディングの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、スタジオシャングリラ、スタジオICCを経て SHANGRI-LA.INC 所属						
授業の学習内容	後期は色々な楽器のレコーディングの実技をし、レコーディング技術の習得						
到達目標	バンドレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ProToolsの操作方法　ショートカットを覚えることができる	protoolsのショートカットの復習
2	10月13日	講義・演習	AG 弾き語りRec　AG,弾き語りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
3	10月20日	講義・演習	EG Rec EG録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
4	10月27日	講義・演習	Bass Rec　Bass録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
5	11月3日	講義・演習	Drum Rec　Drum録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
6	11月10日	講義・演習	Drum Rec　Drum録りを実践できる	Drum録りのセッティング表の作成(準備学習)
7	11月17日	講義・演習	Bass Rec　Bass録りを実践できる	Bass録りのセッティング表の作成(準備学習)
8	11月24日	講義・演習	Gtr Rec　Gtr録りを実践できる	Gtr録りのセッティング表の作成(準備学習)
9	12月1日	講義・演習	バンドレコーディング　Drum,Bass録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
10	12月8日	講義・演習	バンドレコーディング　Gtr,Key,Vo録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
11	12月15日	講義・演習	Mix時のEQ,コンプ、リバーブ等の使い方を覚える	聴かせられるように個人またはグループでMixをしておく
12	1月12日	講義・演習	MIX 確認　各個人またグループのMIXを聞き比べる	資料を整える
13	2月2日	講義・演習	楽器録音テスト　実技&筆記	復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DJ Play Tech(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	DJ機材についての操作方法・練習方法およびDJとして求められる応用テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル（スクラッチ、曲のつなぎ等）を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月13日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	5月20日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	5月27日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月3日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月10日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	6月17日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	6月24日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月1日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月8日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	7月15日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	7月22日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月26日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Play Tech(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	DJ機材についての操作方法・練習方法およびDJとして求められる応用テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル（スクラッチ、曲のつなぎ等）を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	オリエンテーション	自己練習・復習
2	10月15日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月22日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	10月29日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月5日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月12日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月19日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	11月26日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月3日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月10日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	12月17日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月14日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月21日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Music Creation(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	1年次の復習	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月13日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	5月20日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	5月27日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月3日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月10日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	6月17日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	6月24日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月1日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月8日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	7月15日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	7月22日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月26日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Music Creation(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の復習	自己練習・復習
2	10月15日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月22日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	10月29日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月5日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月12日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月19日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	11月26日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月3日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月10日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	12月17日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月14日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月21日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	Analog Recording Advance(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	IRc2スタジオエンジニアを経て現在フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習内容	講義、実習を基に音楽制作におけるマネジメント、プロダクションなどを学ぶ						
到達目標	楽曲作品を制作するにあたり、作業の正確さ、判断力、スケジュール管理能力等を総合的に習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	スタジオシステム総論	レポート
2	5月7日	講義・演習	ミキシングコンソール総論	レポート
3	5月14日	講義・演習	エフェクティング総論	レポート
4	5月21日	講義・演習	レコーディングシミュレーション	レポート
5	5月28日	講義・演習	演習1-1（リズム録音）	レポート
6	6月4日	講義・演習	演習1-2（ダビング）	レポート
7	6月11日	講義・演習	演習1-3（Voダビング）	レポート
8	6月18日	講義・演習	演習1-4（Edit/Mix）	レポート
9	6月25日	講義・演習	試聴会～グループ分け	レポート
10	7月2日	講義・演習	マイキング復習	レポート
11	7月9日	講義・演習	エフェクティング復習	レポート
12	7月16日	講義・演習	ミキシング復習	レポート
13	8月27日	講義・演習	実習2-1（リズム録音）	レポート
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			前回学習時の内容・及び自習時の疑問点をまとめておく	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Analog Recording Advance(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	IRc2 スタジオエンジニアを経て現在フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習内容	講義、実習を基に音楽制作におけるマネジメント、プロダクションなどを学ぶ						
到達目標	楽曲作品を制作するにあたり、作業の正確さ、判断力、スケジュール管理能力等を総合的に習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	演習2-2（ダビング）	レポート
2	10月15日	講義・演習	演習2-3（Voダビング）	レポート
3	10月22日	講義・演習	演習2-4（Edit/Mix）	レポート
4	10月29日	講義・演習	試聴会～グループ分け	レポート
5	11月5日	講義・演習	Vo Edit	レポート
6	11月12日	講義・演習	ミキシング定位、奥行きの演出術	レポート
7	11月19日	講義・演習	演習1（アンビエント）	レポート
8	11月26日	講義・演習	演習2（リズム録音）	レポート
9	12月3日	講義・演習	演習3（Gtダビング）	レポート
10	12月10日	講義・演習	演習4（その他ダビング）	レポート
11	12月17日	講義・演習	演習5（Edit）	レポート
12	1月14日	講義・演習	演習6（Mix）	レポート
13	1月21日	講義・演習	試聴会～次年度の目標設定	レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			前回学習時の内容・及び自習時の疑問点をまとめておく	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pro tools Basic(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村崇
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	レコーディングスタジオに勤務の後、フリーランスのレコーディング＆PAエンジニアとなる。						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材とコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	スタジオの機材の理解を深め実践的な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	GCStudio のシステムと信号の流れを理解する	ミキサーとProToolsの役割を考える
2	4月21日	講義・演習	SSLコンソールのパッチベイを理解する	パッチベイの役割を考える
3	5月12日	講義・演習	バランス接続とトランスを理解する	バランス接続とアンバランス接続の違いを考える
4	5月19日	講義・演習	マイクプリアンプの役割と特徴を理解する	アンプの役割について考える
5	5月26日	講義・演習	ダイナミックマイクの構造と特徴を理解する	ダイナミックマイクの製品を思い出す
6	6月2日	講義・演習	コンデンサーマイクの構造と特徴を理解する	コンデンサーマイクの製品を思い出す
7	6月9日	講義・演習	リボンマイクの構造と特徴を理解する	リボンマイクの製品を調べてみる
8	6月16日	講義・演習	ステレオマイクセッティングを理解する	ステレオマイクセッティングの種類を調べる
9	6月23日	講義・演習	M−Sマトリックスとダミーヘッドを理解する	ダミーヘッドについて調べてみる
10	6月30日	講義・演習	EQの使い方を理解する	EQの種類を調べてみる
11	7月7日	講義・演習	コンプレッサーの使い方を理解する	コンプレッサーの種類を調べてみる
12	7月14日	講義・演習	ディレイとリバーブの効果を学ぶ	ディレイとリバーブについて調べてみる
13	8月25日	講義・演習	ヴォーカルのマイクセッティングを考察する	自分の中で最適と考えられるマイクを調べてみる
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して ProTools を学ぶ	資料の復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して ProTools を学ぶ	資料の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pro tools Basic(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村崇
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	レコーディングスタジオに勤務の後、フリーランスのレコーディング＆PAエンジニアとなる。						
授業の学習内容	スタジオ内外の各種機材とコンピューターを使用した録音作業を行い実践的な技術を学習する。						
到達目標	新旧のスタジオ機材の理解を深めより高度な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ドラムのマイクセッティングを考察する	ドラムキットの各パーツの名前と発音機構を調べる
2	10月13日	講義・演習	アコギのマイクセッティングを考察する	アコギの発音の指向性を調べる
3	10月20日	講義・演習	ベースのレコーディングを考察する	ベースアンプの必要性を考える
4	10月27日	講義・演習	E.ギターのレコーディングを考察する	E.ギターの音色の種類を考える
5	11月3日	講義・演習	DI と リアンプ を理解する	リアンプの意味を考える
6	11月10日	講義・演習	ピアノのマイクセッティングを考察する	ピアノの発音機構を調べる
7	11月17日	講義・演習	ProTools のデジタル接続とクロックを理解する	サンプルレートとワードクロックの意味を調べる
8	11月24日	講義・演習	デジタルとアナログの接続ケーブルを考察する	接続ケーブルの種類を調べる
9	12月1日	講義・演習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	レーテンシーの意味を調べる
10	12月8日	講義・演習	マルチコンプレッサーを理解する	マルチコンプレッサーの必要性を考える
11	12月15日	講義・演習	MIxにおいてのMSマトリックスについて学ぶ	MSで出来る事を調べる
12	1月12日	講義・演習	マスタリングについて学ぶ	マスタリングで出来る事を調べる
13	2月2日	講義・演習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1Bit録音とは何か調べる
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して ProTools の実践力を学ぶ	資料の復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して ProTools の実践力を学ぶ	資料の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Recording(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	デジタルレコーディングとは？	身の回りのデジタル録音
2	4月25日	講義・演習	デジタル化のしくみ、A/D　D/Aコンバーター、サンプリング周波数ビット数とエイリアスと倍音	自分の機材を知る
3	5月9日	講義・演習	各種フォーマット、S/PDIF、AES/EBU 、コアキシャル、オプティカル、圧縮フォーマット	保存、接続、読み取り、書き出し
4	5月16日	講義・演習	だまされずにカタログを読む、f特、ダイナミックレンジ、THD+N、ワードクロックの問題	カタログを読み解く
5	5月23日	講義・演習	MacとWin、ノートとデスクトップ、ハードウェア構成の問題、ソ	最適な構成を考える
6	5月30日	講義・演習	他のシステムとの連携、互換、OMF、AAF、SMF	データ互換
7	6月6日	講義・演習	MIXの基本、リズムの修正、スライス、エラスティック	反復練習
8	6月13日	講義・演習	エフェクト処理の基本、オートメーション、編集作業	反復練習
9	6月20日	講義・演習	ステムミックス、パラレルミックス	反復練習
10	7月4日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、オートモード）	反復練習
11	7月11日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、グラフィックモード1）	反復練習
12	7月18日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、グラフィックモード2、その他のソフト）	試験対策まとめ
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ、前期試験	完全解答作成
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Recording(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ボーカル録音1、レイテンシー、リフレクションフィルター	間違い探し1
2	10月10日	講義・演習	ボーカル録音2、インプットミキサー、チャンネルストリップ	間違い探し2
3	10月17日	講義・演習	アコースティックギター録音、パミリ、ディレクション	間違い探し3
4	10月31日	講義・演習	エレキギター録音1、ユニゾンテクノロジー、プラグイン処理	反復練習
5	11月7日	講義・演習	エレキギター録音2、スピーカーシミュレーター、多くの方法の比較、歪み系エフェクター	反復練習
6	11月14日	講義・演習	アナログ感と歪み1、歪みとレコーディングと音楽発展の歴史	反復練習
7	11月21日	講義・演習	アナログ感と歪み2、プラグイン処理、リアンプ	反復練習
8	11月28日	講義・演習	マスタリング1、DAWプラグイン、AI処理	反復練習
9	12月5日	講義・演習	マスタリング2、WaveLab、ISRC、JAN	反復練習
10	12月12日	講義・演習	ノイズ対策、アナログ部分、デジタル部分、ノイズ除去、	反復練習
11	12月19日	講義・演習	総合実習1（色）	表現力考察
12	1月16日	講義・演習	総合実習2（国）	試験対策まとめ
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ、後期試験	完全解答作成
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DTM(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アーティストサポート等、ギタリストとして活動する傍ら作曲活動もスタートさせる。乃木坂46、AKB48をはじめとする様々なアーティストへの楽曲提供や、多数のアニメ作品、歌謡曲等へギターで参加するなど幅広く活動中。						
授業の学習内容	現代ミュージシャンの必須スキルであるDAWの使用方法をDTMを用いて学ぶ。 併せて打ち込み、レコーディング、ミキシング方法など実践的な内容を交えながら、自身の作曲、編曲スキルに繋げられるよう授業を展開する。						
到達目標	DAWで作曲、編曲、ミックス作業の基本的操作を行えるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要の説明・Mac応用	広義での課題を作成
2	4月21日	講義・演習	Logic立ち上げ・セッション作成 各種ウィンドウ説明	講義で作成したものを各自で作成
3	5月12日	講義・演習	各種ウィンドウ説明・実践	講義で作成したものを各自で作成
4	5月19日	講義・演習	ドラムパート基礎・打ち込み作成	講義で作成したものを各自で作成
5	5月26日	講義・演習	ドラムパート・リアルタイムレコーディング	講義で作成したものを各自で作成
6	6月2日	講義・演習	ドラマートラックについて	講義で作成したものを各自で作成
7	6月9日	講義・演習	ベースパート基礎・打ち込み作成	講義で作成したものを各自で作成
8	6月16日	講義・演習	シャッフルビートの打ち込み	講義で作成したものを各自で作成
9	6月23日	講義・演習	ピアノパート基礎・コードの構成音について	講義で作成したものを各自で作成
10	6月30日	講義・演習	コード進行の打ち込み	講義で作成したものを各自で作成
11	7月7日	講義・演習	ダイアトニックコードについて	講義で作成したものを各自で作成
12	7月14日	講義・演習	テスト前復習	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
13	8月25日	講義・演習	テスト	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DTM(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アーティストサポート等、ギタリストとして活動する傍ら作曲活動もスタートさせる。乃木坂46、AKB48をはじめとする様々なアーティストへの楽曲提供や、多数のアニメ作品、歌謡曲等へギターで参加するなど幅広く活動中。						
授業の学習内容	現代ミュージシャンの必須スキルであるDAWの使用方法をDTMを用いて学ぶ。 併せて打ち込み、レコーディング、ミキシング方法など実践的な内容を交えながら、自身の作曲、編曲スキルに繋げられるよう授業を展開する。						
到達目標	DAWで作曲、編曲、ミックス作業の基本的操作を行えるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	セッション＆セットアップ	広義での課題を作成
2	10月13日	講義・演習	セッション作りについて学ぶ	講義で作成したものを各自で作成
3	10月20日	講義・演習	エディット基礎その①	講義で作成したものを各自で作成
4	10月27日	講義・演習	エディット基礎その②	講義で作成したものを各自で作成
5	11月3日	講義・演習	エディット基礎(まとめ)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月10日	講義・演習	オートメーション: パラメータの自動化	講義で作成したものを各自で作成
7	11月17日	講義・演習	プラグインの知識について	講義で作成したものを各自で作成
8	11月24日	講義・演習	サードパーティーのプラグインについて	講義で作成したものを各自で作成
9	12月1日	講義・演習	リバーブについて	講義で作成したものを各自で作成
10	12月8日	講義・演習	ディレイについて	講義で作成したものを各自で作成
11	12月15日	講義・演習	ミックスダウンの方法	講義で作成したものを各自で作成
12	1月19日	講義・演習	マスタリングについての考え方	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
13	2月2日	講義・演習	テスト	テスト準備としてProtoolsの操作を授業外で復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してDTMを学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mixing Lab(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	音楽ミックスの基礎から応用までを学び、EQ、コンプレッション、リバーブ、パンニングなどの技術を実践的に習得する						
到達目標	音楽ミックスの基礎から応用までを習得し、実践的なスキルを身につけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	イントロダクション: ミキシングの基本概念と役割	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
2	4月21日	講義・演習	オーディオ信号の基礎: 波形、周波数、振幅	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
3	5月12日	講義・演習	DAW（デジタルオーディオワークステーション）の使い方	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
4	5月19日	講義・演習	トラックのインポートと整理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
5	5月26日	講義・演習	リバーブとディレイの基礎	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
6	6月2日	講義・演習	リバーブとディレイの応用	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
7	6月9日	講義・演習	パンニングの基礎: ステレオイメージの作成	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
8	6月16日	講義・演習	パンニングの応用: ミックスのバランス調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
9	6月23日	講義・演習	ゲインステージング: 適切なレベル設定	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
10	6月30日	講義・演習	オートメーション: ダイナミックなミックスの作成	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
11	7月7日	講義・演習	サイドチェインコンプレッション: 特殊なダイナミクス処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
12	7月14日	講義・演習	エフェクトの基礎: モジュレーション、ディストーションなど	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
13	8月25日	講義・演習	エフェクトの応用: 創造的なエフェクト処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
準備学習　時間外学習			配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mixing Lab(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	音楽ミックスの基礎から応用までを学び、EQ、コンプレッション、リバーブ、パンニングなどの技術を実践的に習得する						
到達目標	音楽ミックスの基礎から応用までを習得し、実践的なスキルを身につけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ボーカルミキシング: ボーカルの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
2	10月13日	講義・演習	ドラムミキシング: ドラムキットの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
3	10月20日	講義・演習	ベースミキシング: ベースの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
4	10月27日	講義・演習	ギターミキシング: ギターの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
5	11月3日	講義・演習	シンセサイザーミキシング: シンセの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
6	11月10日	講義・演習	ミックスバス処理: マスターバスの処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
7	11月17日	講義・演習	リファレンスミックスの活用: 他のミックスとの比較	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
8	11月24日	講義・演習	ミックスのチェック: モニタリングと修正	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
9	12月1日	講義・演習	アナログ機器のシミュレーション	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
10	12月8日	講義・演習	サラウンドサウンドミキシング: 5.1や7.1のミックス技術	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
11	12月15日	講義・演習	フィールドレコーディングのミキシング	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
12	1月19日	講義・演習	フィールドレコーディングのミキシング	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
13	2月2日	講義・演習	リスナーの心理に基づいたミックス手法	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
準備学習　時間外学習			配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Sound make(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	シンセサイザーとは何か？の概要を理解する	リファレンスになる音を収集する
2	4月21日	講義・演習	オシレータの波形の種類と特徴を理解する	リファレンスになる音を収集する
3	5月12日	講義・演習	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する	リファレンスになる音を収集する
4	5月19日	講義・演習	Envelope Generatorのパラメータを実践する	リファレンスになる音を収集する
5	5月26日	講義・演習	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
6	6月2日	講義・演習	音高の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
7	6月9日	講義・演習	音高の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
8	6月16日	講義・演習	音色の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
9	6月23日	講義・演習	音量 の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
10	6月30日	講義・演習	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
11	7月7日	講義・演習	音程感の無い音の音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
12	7月14日	講義・演習	単音楽器ならではの表現が出来る様になる	リファレンスになる音を収集する
13	8月25日	講義・演習	PWMとサブオシレータを使いこなせる様になる	リファレンスになる音を収集する
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習　時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	

【使用教科書・教材・参考書】

シンセサイザーテクニック99

科目名	Sound make(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	SuperSawの作り方と実践を学ぶ	リファレンスになる音を収集する
2	10月13日	講義・演習	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
3	10月20日	講義・演習	Oscillator Sync の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
4	10月27日	講義・演習	Ring Modulation の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
5	11月3日	講義・演習	Matrixによるフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
6	11月10日	講義・演習	リアルタイム・コントロールが出来る	リファレンスになる音を収集する
7	11月17日	講義・演習	Vocoderの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
8	11月24日	講義・演習	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
9	12月1日	講義・演習	エフェクターの概要を知り,基本的な効果を掛けられる	リファレンスになる音を収集する
10	12月8日	講義・演習	Delayの基本操作が出き,応用的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
11	12月15日	講義・演習	ダブリング系の効果を実践出来る	リファレンスになる音を収集する
12	1月12日	講義・演習	Delayを利用したフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
13	2月2日	講義・演習	Complessorの基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習　時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	

【使用教科書・教材・参考書】

シンセサイザーテクニック99

科目名	作編曲法 Basic(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	作曲初学者から作曲中級者を対象に，メロディを生かすより効果的で複雑な和音を，複数の選択肢から選び実践出来る様にする. 時代に沿った効果的な転調と和音進行，それらの有機的な連結を出来る様になり，単純なメロディ作成だけではなく，転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする. 既存曲のアナライズをする事で，実践的なセオリーの使用法を学ぶ						
到達目標	部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし，より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし，メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた，メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	モーダルインターチェンジ1・同主調との往き来・サブドミナントマイナーⅣm・ハーモニックメジャー・リディアン♭3・♭Ⅶ7・♭Ⅶ△7	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
2	4月21日	講義・演習	モーダルインターチェンジ2・♭Ⅵ△7・リディアン・♭Ⅲ△7・Ⅱm7-5	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
3	5月12日	講義・演習	モード的作曲・ドリアン，リディアンによるモーダルな作品を作る	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
4	5月19日	講義・演習	ドミナントのバリエーション1・オーギュメント7th・オルタードスケール	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
5	5月26日	講義・演習	ドミナントのバリエーション2・パッシングディミニッシュ・ロクリアン♭♭・オルタード♭♭	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
6	6月2日	講義・演習	ドミナントのバリエーション3・トライトーンサブスティテューション・♭Ⅱ7・リディアン♭7th	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
7	6月9日	講義・演習	テンション1・ドミナントにおいてのナチュラルテンションとオルタードテンション・♭9th・#9thの特徴と使い方・スパニッシュ8thノート	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
8	6月16日	講義・演習	テンション2・トライトーンサブスティテューションでのテンションの使用・#11♭13	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
9	6月23日	講義・演習	セカンダリードミナントでのトライトーンサブスティテューション・Ⅱm7-♭Ⅱ7-Ⅰ型・♭V#11とホールトーンスケール	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
10	6月30日	講義・演習	本格転調1・近親調への転調と復帰・ドミナントモーションを利用した転調	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
11	7月7日	講義・演習	本格転調2・近親調の近親調への転調と復帰・ピボットコードを利用した転調	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
12	7月14日	講義・演習	本格転調3・遠隔調への転調・ピボットノートを利用したより幅広い転調・短2度転調	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
13	8月25日	講義・演習	本格転調4・中心軸システムと短3度転調・転調，代理和音のより論理的なメカニズム	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題を次週の演習時間までに仕上げ，更に疑問点をリストアップ
準備学習　時間外学習			課題の仕上げ・疑問点のリストアップ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作編曲法 Basic(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	作曲初学者から作曲中級者を対象に，メロディを生かすより効果的で複雑な和音を，複数の選択肢から選び実践出来る様にする。 時代に沿った効果的な転調と和音進行，それらの有機的な連結を出来る様になり，単純なメロディ作成だけではなく，転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。 既存曲のアナライズをする事で，実践的なセオリーの使用法を学ぶ。						
到達目標	部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし，より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし，メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた，メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	モード的作曲・ドリアン，リディアンによるモーダルな作品を作る	リファレンスになる音を収集する
2	10月14日	講義・演習	ドミナントのバリエーション①・オーギュメント7th・オルタードスケール	リファレンスになる音を収集する
3	10月21日	講義・演習	ドミナントのバリエーション②・パッシングディミニッシュ・ロクリアン♭♭・オルタード♭♭	リファレンスになる音を収集する
4	10月28日	講義・演習	ドミナントのバリエーション③・トライトーンサブスティテューション・♭II7・リディアン♭7th	リファレンスになる音を収集する
5	11月4日	講義・演習	テンション①・ドミナントにおいてのナチュラルテンションとオルタードテンション・♭9th・#9thの特徴と使い方・スパニッシュ8thノート	リファレンスになる音を収集する
6	11月11日	講義・演習	テンション②・各ファンクションでのテンションリゾルブと，そのメロディやベースライン，対旋律への応用	リファレンスになる音を収集する
7	11月18日	講義・演習	テンション③・トライトーンサブスティテューションでのテンションの使用・#11♭13	リファレンスになる音を収集する
8	11月25日	講義・演習	セカンダリードミナントでのトライトーンサブスティテューション・IIm7-♭II7-I型・♭V#11とホールトーンスケール	リファレンスになる音を収集する
9	12月2日	講義・演習	本格転調①・近親調への転調と復帰・ドミナントモーションを利用した転調	リファレンスになる音を収集する
10	12月9日	講義・演習	本格転調②・近親調の近親調への転調と復帰・ピボットコードを利用した転調	リファレンスになる音を収集する
11	12月16日	講義・演習	本格転調③・遠隔調への転調・ピボットノートを利用したより幅広い転調・短2度転調	リファレンスになる音を収集する
12	1月20日	講義・演習	本格転調④・中心軸システムと短3度転調・転調，代理和音のより論理的なメカニズム	リファレンスになる音を収集する
13	1月27日	講義・演習	平行和音と倍音・和音と音色の関係・平行進行を利用した近代的な作曲アプローチ	リファレンスになる音を収集する
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習　時間外学習			課題の仕上げ・疑問点のリストアップ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、 セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月26日	講義・演習	ライブパフォーマンスを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月10日	講義・演習	ライブパフォーマンスを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月17日	講義・演習	ライブパフォーマンスを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月24日	講義・演習	ミキシングについて学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
6	5月31日	講義・演習	ミキシングについて学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月7日	講義・演習	シンセサイザーについて学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月14日	講義・演習	シンセサイザーについて学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月21日	講義・演習	サウンドトラックを作ってみよう	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月5日	講義・演習	サウンドトラックを作ってみよう	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月12日	講義・演習	サウンドトラックを作ってみよう	授業内で配布したワークシートの確認
12	8月23日	講義・演習	サウンドトラックを作ってみよう	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月30日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月13日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月20日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、 セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	楽曲のアレンジを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月11日	講義・演習	楽曲のアレンジを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月18日	講義・演習	フィールドレコーディングに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
4	11月1日	講義・演習	フィールドレコーディングに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月8日	講義・演習	フィールドレコーディングに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月15日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月22日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
8	11月29日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月6日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月13日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
11	12月20日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月17日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
13	1月24日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	1月31日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月14日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動画撮影編集論(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画コンテンツの発信は最重要テーマの一つであり、常に映像や写真を記録する習慣を身に着け授業の制作に生かしていただきたい。前期は主に機材面を中心に、実際のシーンで多用される編集テクニックを習得していく。						
到達目標	より人の心に響く映像を作るための編集方法や映像理論、機材の基本を学ぶ。 特にカメラ機材の扱い方や設定をしっかり把握し、狙った通りのショットを撮影できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	事前資料を目を通す
2	4月26日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。 動画形式/fps/解像度について述べることができる。	資料の確認
3	5月10日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。 絞り/SS/ISO感度/WBについて述べることができる。	資料の確認
4	5月17日	講義・演習	スチル/動画それぞれ最適な機材設定を考察する。 設定を理解し、実践することができる。	資料の確認
5	5月24日	講義・演習	パン、チルトなどの基本的なカメラワークと構図について学び、それらの説明ができる。	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	キーフレーム、エフェクトコントロールを学び、実践できる。	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	映像理論の基礎(各画角、構図による心理的影響)を理解できる。	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	映像理論の基礎(イマジナリーライン、モンタージュ論)を理解できる。	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	ストーリーボードの重要性を理解でき、作成方法を習得できる。	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	実際の映画、ドラマのシーンを鑑賞の上、手法を分析することができる。	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる。(基礎)	資料の確認
12	8月23日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる。(応用)	資料の確認
13	8月30日	講義・演習	機材、理論に関するテストの実施	資料の確認
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

filmmaker's eye、映像制作スタンダードブック

科目名	動画撮影編集論(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画撮影や編集はクオリティに拘らなければ誰でも簡単に行える時代ではあるが、それ故コンテンツの飽和状態となり目を引くコンテンツにするには企画力や演出力がポイントとなる。後期は主にafter effectsによるより高度なテクニックを習得し、自身の動画コンテンツに活かせる映像を作成する。						
到達目標	after effectsの応用技術を身につける。身につけた技術やプログラミングで効率よく作業する方法を生かし、自身の映像コンテンツの企画制作に役立ててほしい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	after effectsの基本操作の確認。 基本操作を理解し、実践できる。	事前資料を目を通す
2	10月11日	講義・演習	after effectsのレイヤーについて学ぶ。 平面レイヤー、調整レイヤーについて理解し、実践できる。	資料の確認
3	10月18日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ。 3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる。	資料の確認
4	11月1日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ。 3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる。	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する。	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する。	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	モーショントラッキング機能を学ぶ。 モーショントラッキングとは何かを把握し、実践。	資料の確認
8	11月29日	講義・演習	After Effectsにおけるプログラミングを理解、プログラミングできる。	資料の確認
9	12月6日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、wiggle、timeを設定することができる。	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、randomを設定することができる。	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、loopOutを設定することができる。	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、三角関数(sin、cos)を設定することができる。	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	課題として時間内に所定の映像を作成する	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても 問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ゼロからのAfter Effectsエクスプレッション奮闘記

科目名	Artist's SNS Management(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGOLIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験有。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当。						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション	軽い自己紹介を考えてきてもらう
2	5月7日	講義・演習	ライバーという職業について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
3	5月14日	講義・演習	配信アプリの種類と特色	軽い自己紹介を考えてきてもらう
4	5月21日	講義・演習	事務所契約について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
5	5月28日	講義・演習	配信機材、レコーディング機材	TwitterとInstagramのアカウント作成
6	6月4日	講義・演習	SNS活用術・フォロワーを伸ばすには？	一週間SNS投稿をしてもらい、リーチ数を比較
7	6月11日	講義・演習	SNS実践編～アルゴリズムを知ろう～	メイク、髪型、洋服着こなしなど練習（メイク道具を持ってきてもらう）
8	6月18日	講義・演習	SNS投稿～投稿に必要なアプリ～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
9	6月25日	講義・演習	SNS投稿②～ショート動画を作れるようになろう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
10	7月2日	講義・演習	SNS投稿③～実際に投稿してみよう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
11	7月9日	講義・演習	SNS投稿④～添削会～	マインドセット
12	7月16日	講義・演習	自己プロデュース能力～見た目を磨く～	アカウント作成
13	8月27日	講義・演習	前期テスト、アンケート	アカウント作成
14	9月10日	講義・演習	システム講座（Tik Tok）	アカウント作成
15	9月17日	講義・演習	システム講座実践編（Tik Tok）　編集技術向上	編集アプリダウンロード、編集、投稿。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Artist's SNS Management(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGOLIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験有。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当。						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	コミュニケーション能力～傾聴力～	Pocochaはシステムが多いので、小テスト実施
2	10月15日	講義・演習	コミュニケーション能力～話す力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
3	10月22日	講義・演習	コミュニケーション能力～人に好かれる話し方～	授業で教わった内容の復習と事前予習
4	10月29日	講義・演習	コミュニケーション能力～雑談力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
5	11月5日	講義・演習	ライブ配信概論～ライブ配信とは？～	授業で教わった内容の復習と事前予習
6	11月12日	講義・演習	Vライバーについて	授業で教わった内容の復習と事前予習
7	11月19日	講義・演習	配信アプリの仕組み（IRIAM、Pococha）	授業で教わった内容の復習と事前予習
8	11月26日	講義・演習	メンタルを正しく保とう	授業で教わった内容の復習と事前予習
9	12月3日	講義・演習	YouTube概論～YouTubeとは～	授業で教わった内容の復習と事前予習
10	12月10日	講義・演習	YouTube概論～	授業で教わった内容の復習と事前予習
11	12月17日	講義・演習	SNSとYouTubeを上手く使いこなそう	授業で教わった内容の復習と事前予習
12	1月14日	講義・演習	テスト前復習、後期まとめ	良かった点・反省点・改善案　発表
13	1月21日	講義・演習	後期テスト	授業で教わった内容の復習と事前予習
14	2月4日	講義・演習	ライブ配信実践編Tiik Tok②	授業で教わった内容の復習と事前予習
15	2月11日	講義・演習	配信振り返り	授業で教わった内容の復習と事前予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	VOCALOID ゼミ(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	太田晴之
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	作曲家として刀剣乱舞ミュージカル、木村昴、小倉唯、アイカツ、等に楽曲提供						
授業の学習内容	VOCALOID初音ミクを使用してオリジナル曲を作成する。 自分の好きなことを形に残す喜びを実感させて「学ぶ」ことの楽しさを理解させる。						
到達目標	1人1曲オリジナル曲をワンコーラス完成できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	操作方法を覚える前にDTMとボカロを体験する。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
2	4月21日	講義・演習	ループを使った楽曲を作る。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
3	5月12日	講義・演習	同じフレーズにそれぞれの歌詞を入力させる。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
4	5月19日	講義・演習	「しゃくり」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
5	5月26日	講義・演習	「トリル」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
6	6月2日	講義・演習	「ビブラート」の技術習得。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
7	6月9日	講義・演習	声色の調整方法の習得。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
8	6月16日	講義・演習	オリジナル曲制作開始。	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
9	6月23日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
10	6月30日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
11	7月7日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
12	7月14日	講義・演習	オリジナル曲制作プロジェクト	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
13	8月25日	講義・演習	作品発表	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
14	9月8日	講義・演習	イベントを通じてボーカロイド制作を学ぶ	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
15	9月15日	講義・演習	イベントを通じてボーカロイド制作を学ぶ	授業で学んだことの復習と、 ボーカロイドを使った自主制作
準備学習　時間外学習			授業で学んだことの復習と、ボーカロイドを使った自主制作	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、登録者数60万人超のYouTuberグループリーダーを務める						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	5月13日	講義・演習	SNS戦略論	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	5月20日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	5月27日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	6月3日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	6月10日	講義・演習	炎上対策	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	6月17日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	6月24日	講義・演習	第1弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	7月1日	講義・演習	第1弾　アナリティクスを読み解こう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	7月8日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	7月15日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	7月22日	講義・演習	第2弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	8月26日	講義・演習	前期振り返り	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	9月9日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	9月16日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、登録者数60万人超のYouTuberグループリーダーを務める						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	10月21日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	10月28日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	11月4日	講義・演習	各種SNSの違い	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	11月11日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	11月18日	講義・演習	第3弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-3	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	11月25日	講義・演習	第3弾　アナリティクスを読み解こう 第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	12月2日	講義・演習	第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	12月9日	講義・演習	第4弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-4	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	12月16日	講義・演習	イベント演習１	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	1月13日	講義・演習	イベント演習２	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	1月20日	講義・演習	イベント演習３	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	2月3日	講義・演習	イベント演習４	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	2月10日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	2月17日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践A(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMIXとは・リスニングトレーニング	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	MIX種類別セッションを用いて概要説明	MIXする音源を準備・Protoolsの基本操作
4	5月21日	講義・演習	バランスの取り方・基礎	MIXする音源を準備・Protoolsの基本操作
5	5月28日	講義・演習	低音域(Kick,Bass)とボーカルの重要性・基礎	MIXする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit・基礎	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラッキング&MIX・基礎	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラッキング&MIX・基礎	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMIX・基礎	MIXする音源を準備
13	8月27日	講義・演習	楽曲に合う空間系の作り方・基礎	ここまでを踏まえたMIXを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
準備学習　時間外学習			アドバイスに基づいたMIXリテイク	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践A(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理・基礎	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ・基礎	MIXする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方・基礎	MIXする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方・基礎	MIXする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	MIXにおける位相や定位・セッションの最終調整・基礎	MIXする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方・基礎	MIXした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	MIXした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering・基礎	MIXした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践B(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMIXとは・リスニングトレーニング	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	MIX種類別セッションを用いて概要説明	MIXする音源を準備
4	5月21日	講義・演習	低音域(Kick,Bass)とボーカルの重要性	MIXする音源を準備
5	5月28日	講義・演習	バランスの取り方	MIXする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラッキング&MIX	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラッキング&MIX	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMIX	ボーカルトラックを準備
13	8月27日	講義・演習	空間系の作り方	ここまでを踏まえたMIXを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践B(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ	MIXする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方	MIXする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方	MIXする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	MIXにおける位相や定位、セッションの最終調整	MIXする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方	MIXした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	MIXした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering	MIXした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	AT-REC(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経て、様々なジャンルでフリーランスエンジニアをしています。						
授業の学習内容	スタジオ□/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ□管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおいての進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	スタジオ□機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、基礎的な録音機器の仕組み、 現代的な録音への理解
2	5月20日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎	前回までの□理解力の確認
3	5月20日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	6月3日	講義・演習	f特、ダイナミックレンジ、THD+N、デジタル機器への理解	前回までの□理解力の確認
5	6月3日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
6	6月17日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
7	6月17日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
8	7月1日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
9	7月1日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
10	7月15日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
11	7月15日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
12	8月26日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
13	8月26日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
14	9月16日	講義・演習	イベントを通じてレコーディング技術を実践的に学ぶ	前回までの□理解力の確認
15	9月16日	講義・演習	イベントを通じてレコーディング技術を実践的に学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

レコーディングスタジオ内　常設機材

科目名	AT-REC(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経て、様々なジャンルでフリーランスエンジニアをしています。						
授業の学習内容	スタジオ□/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1)録音技術の習得 2)ミキシング□技術の習得 3)マスタリング□技術の習得 4)データ□管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおいての進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
2	10月21日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
3	10月28日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
4	11月4日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
5	11月11日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
6	11月18日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
7	11月25日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
8	12月2日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
9	12月9日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
10	12月16日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
11	1月13日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
12	1月20日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
13	2月3日	講義・演習	後記分復習及び□問題点の整理	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
14	2月10日	講義・演習	イベントを通じてレコーディング技術を実践的に学ぶ	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
15	2月17日	講義・演習	イベントを通じてレコーディング技術を実践的に学ぶ	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

レコーディングスタジオ内　常設機材

科目名	音楽制作概論(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	1年次の総復習授業 「アナログレコーディング3」との連携授業 座学と演習を通し、音楽制作、スタジオワークを学ぶ スコアリング、ディレクション、各システムのセットアップ等、スタジオワークに必要な知識、技術を習得する						
到達目標	制作締切に対し逆算してスケジューリングをする能力、制作スピード、トラブルシューティング力を高め、音楽制作者としての基礎、応用力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	就職とデビューについて/グループ分け	楽曲制作
2	5月7日	講義・演習	アベイラブル・ノートスケール	楽曲制作
3	5月14日	講義・演習	音価の高低	楽曲制作
4	5月21日	講義・演習	楽曲チェック	楽曲制作
5	5月28日	講義・演習	演習1-1	レコーディング
6	6月4日	講義・演習	演習1-2	レコーディング
7	6月11日	講義・演習	演習1-3	レコーディング
8	6月18日	講義・演習	演習1-4	Mix
9	6月25日	講義・演習	試聴会～グループ分け	グループ毎ミーティング
10	7月2日	講義・演習	授業アンケートによる	楽曲制作
11	7月9日	講義・演習	授業アンケートによる	楽曲制作
12	7月16日	講義・演習	授業アンケートによる	楽曲制作
13	8月27日	講義・演習	実習2-1	レコーディング
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作	楽曲の完パケ
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作	楽曲の完パケ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽制作概論(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	1年次の総復習授業 「アナログレコーディング3」との連携授業 座学と演習を通し、音楽制作、スタジオワークを学ぶ スコアリング、ディレクション、各システムのセットアップ等、スタジオワークに必要な知識、技術を習得する						
到達目標	制作締切に対し逆算してスケジューリングをする能力、制作スピード、トラブルシューティング力を高め、音楽制作者としての基礎、応用力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	演習2-2	レコーディング
2	10月15日	講義・演習	演習2-3	レコーディング
3	10月22日	講義・演習	演習2-4	ミキシング
4	10月29日	講義・演習	試聴会～グループ分け	グループ毎ミーティング
5	11月5日	講義・演習	授業アンケートによる	楽曲制作
6	11月12日	講義・演習	授業アンケートによる	楽曲制作
7	11月19日	講義・演習	演習3-1	レコーディング
8	11月26日	講義・演習	演習3-2	レコーディング
9	12月3日	講義・演習	演習3-3	レコーディング
10	12月10日	講義・演習	演習3-4	レコーディング
11	12月17日	講義・演習	演習3-5	レコーディング
12	1月14日	講義・演習	演習3-6	レコーディング
13	1月21日	講義・演習	視聴会	レコーディング
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作	楽曲の完パケ
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作	楽曲の完パケ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pre-production seminar(5)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	プロの作曲家として必要なプリプロをを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ（コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ（ベーシックアレンジまで）できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	5月13日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材に関しての基礎的な理解とマナーに関しての理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	5月20日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる（クオンタイズ、ベロシティ）	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	5月27日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
5	6月3日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	6月10日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	6月17日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる/状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	6月24日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	7月1日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（コンプ、EQ）/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	7月8日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（リバーブ、ディレイ）/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	7月15日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	7月22日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Pre-production seminar(6)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	勝守理：作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠：様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニュピレートやポニーキャニオンで配信などに携わる。						
授業の学習内容	プロの作曲家として必要なプリプロをを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ（コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ（ベーシックアレンジまで）できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	10月21日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材に関しての基礎的な理解とマナーに関しての理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	10月28日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる（クオンタイズ、ベロシティ）	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	11月4日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
5	11月11日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	11月18日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	11月25日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる/状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	12月2日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	12月9日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（コンプ、EQ）/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	12月16日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる（リバーブ、ディレイ）/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	1月13日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	1月20日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(5)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、スタジオシャングリラ、スタジオICCを経て SHANGRI-LA.INC 所属						
授業の学習内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。 頭にいれるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	SSL Dualityの使い方基本①　external,monitor control	前授業の復習をしておく
2	4月21日	講義・演習	SSL Dualityの使い方基本②　信号の流れを覚える	前授業の復習をしておく
3	5月12日	講義・演習	Vocal RECのセッティング	前授業の復習をしておく
4	5月19日	講義・演習	Vocal REC　練習	前授業の復習をしておく
5	5月26日	講義・演習	Vocal REC	前授業の復習をしておく
6	6月2日	講義・演習	ここまでの復習	前授業の復習をしておく
7	6月9日	講義・演習	バンドセッティングの練習①	前授業の復習をしておく
8	6月16日	講義・演習	バンドセッティングの練習②	前授業の復習をしておく
9	6月23日	講義・演習	バンドレコーディングシュミレーション	前授業の復習をしておく
10	6月30日	講義・演習	バンドレコーディング①	前授業の復習をしておく
11	7月7日	講義・演習	バンドレコーディング②	前授業の復習をしておく
12	7月14日	講義・演習	録音したデータのEDIT①	前授業の復習をしておく
13	8月25日	講義・演習	録音したデータのEDIT②	前授業の復習をしておく
14	9月8日	講義・演習	実技テスト	前授業の復習をしておく
15	9月15日	講義・演習	前期まとめ	前授業の復習をしておく
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Real World Recording Project(6)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、スタジオシャングリラ、スタジオICCを経て SHANGRI-LA.INC 所属						
授業の学習内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。 頭にいれるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習	前授業の復習をしておく
2	10月13日	講義・演習	バンドレコーディングのより実践的な作業練習①	前授業の復習をしておく
3	10月20日	講義・演習	バンドレコーディングのより実践的な作業練習②	前授業の復習をしておく
4	10月27日	講義・演習	SYNCをしながらシンセの録音	前授業の復習をしておく
5	11月3日	講義・演習	楽器レコーディング	前授業の復習をしておく
6	11月10日	講義・演習	レコーディングした素材のEDIT	前授業の復習をしておく
7	11月17日	講義・演習	映像関連のMIX サラウンドMIXのセッティング	前授業の復習をしておく
8	11月24日	講義・演習	Duallity と Protoolsの応用操作①	前授業の復習をしておく
9	12月1日	講義・演習	Duallity と Protoolsの応用操作②	前授業の復習をしておく
10	12月8日	講義・演習	楽器レコーディング	前授業の復習をしておく
11	12月15日	講義・演習	MIX①	前授業の復習をしておく
12	1月12日	講義・演習	MIX②	前授業の復習をしておく
13	2月2日	講義・演習	復習	前授業の復習をしておく
14	2月9日	講義・演習	テスト	前授業の復習をしておく
15	2月16日	講義・演習	まとめ	前授業の復習をしておく
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DJ Play Tech(5)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	勝田修平 大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	勝田：元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。 大久保：サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	必要な音楽知識、チームでの制作技術を学ぶ。 機材の操作方法・練習方法、テクニックを学習する						
到達目標	授業を通じて、スケジュール管理能力やトラブルシューティングを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
2	5月13日	講義・演習	トラックメイクとチーム制作について(1)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
3	5月20日	講義・演習	トラックメイクとチーム制作について(2)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
4	5月27日	講義・演習	トラックメイクとチーム制作について(3)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
5	6月3日	講義・演習	トラックメイクとチーム制作について(4)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
6	6月10日	講義・演習	トラックメイクとチーム制作について(5)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
7	6月17日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(1)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
8	6月24日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(2)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
9	7月1日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(3)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
10	7月8日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(4)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
11	7月15日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(5)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
12	7月22日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(6)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
13	8月26日	講義・演習	チームミーティングとコンセプト制作(7)	チーム制作に向けた準備・資料制作、また予習について
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通して必要な音楽知識を学ぶ	イベント準備を行う
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通して必要な音楽知識を学ぶ	イベント準備を行う
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、授業内容を復習する。チームでのミーティング・制作を授業外時間でも行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DJ Play Tech(6)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	DJ機材についての操作方法・練習方法およびDJとして求められる応用テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル（スクラッチ、曲のつなぎ等）を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	オリエンテーション	自己練習・復習
2	10月21日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月28日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	11月4日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月11日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月18日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月25日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	12月2日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月9日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月16日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	1月13日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月20日	講義・演習	DJプレイテクニックとトラックメイクについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	2月3日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月10日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月17日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	DJ Music Creation(5)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	勝田修平 大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	勝田：元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。大久保：サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	●DJに必要なリスナーを喜ばれるための楽曲選定について学ぶ ●ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	●ニーズに応じた楽曲の選曲技術を学ぶ ●現場毎に求めらせる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	音楽についての歴史やジャンルについて	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
2	5月13日	講義・演習	選曲についてのジャンル・音楽性の選択について(1)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
3	5月20日	講義・演習	選曲についてのジャンル・音楽性の選択について(2)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
4	5月27日	講義・演習	選曲についてのジャンル・音楽性の選択について(3)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
5	6月3日	講義・演習	選曲についてのジャンル・音楽性の選択について(4)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
6	6月10日	講義・演習	選曲についてのジャンル・音楽性の選択について(5)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
7	6月17日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(1)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
8	6月24日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(2)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
9	7月1日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(3)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
10	7月8日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(4)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
11	7月15日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(5)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
12	7月22日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(6)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
13	8月26日	講義・演習	楽曲選定における注意点やトラブルについて(7)	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
14	9月9日	講義・演習	イベントでの実践を通して音楽選定を学ぶ	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
15	9月16日	講義・演習	イベントでの実践を通して音楽選定を学ぶ	様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること
準備学習　時間外学習			様々な音楽をジャンルに応じて授業外時間で聴き比べること	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DJ Music Creation(6)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	大久保英憲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、メジャー、インディースと多数のアーティストからの支持をうけ、Live DJとしても活動。						
授業の学習内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求めらせる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	前期の復習	自己練習・復習
2	10月21日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	10月28日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	11月4日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月11日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月18日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	11月25日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	12月2日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月9日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	12月16日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	1月13日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月20日	講義・演習	DJパフォーマンステクニック・トラックメイク・作曲	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	2月3日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月10日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月17日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習　時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

常設機材

科目名	Artist's SNS Management(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGO LIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験あり。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当。						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、 自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション	軽い自己紹介を考えてきてもらう
2	5月7日	講義・演習	ライバーという職業について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
3	5月14日	講義・演習	配信アプリの種類と特色	軽い自己紹介を考えてきてもらう
4	5月21日	講義・演習	事務所契約について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
5	5月28日	講義・演習	配信機材、レコーディング機材	TwitterとInstagramのアカウント作成
6	6月4日	講義・演習	SNS活用術・フォロワーを伸ばすには？	一週間SNS投稿をしてもらい、リーチ数を比較
7	6月11日	講義・演習	SNS実践編～アルゴリズムを知ろう～	メイク、髪型、洋服着こなしなど練習（メイク道具を持ってきてもらう）
8	6月18日	講義・演習	SNS投稿～投稿に必要なアプリ～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
9	6月25日	講義・演習	SNS投稿②～ショート動画を作れるようになろう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
10	7月2日	講義・演習	SNS投稿③～実際に投稿してみよう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
11	7月9日	講義・演習	SNS投稿④～添削会～	マインドセット
12	7月16日	講義・演習	自己プロデュース能力～見た目を磨く～	アカウント作成
13	8月27日	講義・演習	前期テスト、アンケート	アカウント作成
14	9月10日	講義・演習	システム講座（Tik Tok）	アカウント作成
15	9月17日	講義・演習	システム講座実践編（Tik Tok）　編集技術向上	編集アプリダウンロード、編集、投稿。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Artist's SNS Management(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	おにゅー
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	BIGOLIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動。BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続。Pocochaでは最高ランクS5ランク。アプリ内イベントにて多数広告掲載経験有。ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当						
授業の学習内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、 自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上。フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	コミュニケーション能力～傾聴力～	Pocochaはシステムが多いので、小テスト実施
2	10月15日	講義・演習	コミュニケーション能力～話す力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
3	10月22日	講義・演習	コミュニケーション能力～人に好かれる話し方～	授業で教わった内容の復習と事前予習
4	10月29日	講義・演習	コミュニケーション能力～雑談力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
5	11月5日	講義・演習	ライブ配信概論～ライブ配信とは？～	授業で教わった内容の復習と事前予習
6	11月12日	講義・演習	Vライバーについて	授業で教わった内容の復習と事前予習
7	11月19日	講義・演習	配信アプリの仕組み（IRIAM、Pococha）	授業で教わった内容の復習と事前予習
8	11月26日	講義・演習	メンタルを正しく保とう	授業で教わった内容の復習と事前予習
9	12月3日	講義・演習	YouTube概論～YouTubeとは～	授業で教わった内容の復習と事前予習
10	12月10日	講義・演習	YouTube概論～	授業で教わった内容の復習と事前予習
11	12月17日	講義・演習	SNSとYouTubeを上手く使いこなそう	授業で教わった内容の復習と事前予習
12	1月14日	講義・演習	テスト前復習、後期まとめ	良かった点・反省点・改善案　発表
13	1月21日	講義・演習	後期テスト	授業で教わった内容の復習と事前予習
14	2月4日	講義・演習	ライブ配信実践編Tiik Tok②	授業で教わった内容の復習と事前予習
15	2月11日	講義・演習	配信振り返り	授業で教わった内容の復習と事前予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作編曲法 Advance (5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中山聡
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲家。提供実績（SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等　他多数）						
授業の学習内容	音楽理論に基づき正確に効率的に編曲ができるようにする。特に苦手に感じることが多いブラスアレンジを中心にヴォイシング全般を講義する						
到達目標	ヴォイシング（4way close,アプローチノート）を理解し、ブラスアレンジができるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ヴォイシング（4way close,アプローチノート）を理解し、ブラスアレンジができるようにする	問題集
2	5月7日	講義・演習	コード理論（同主調）の復習	問題集
3	5月14日	講義・演習	4way closeの復習 harmonic continuity　approach note	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
4	5月21日	講義・演習	scale wise approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
5	5月28日	講義・演習	chromatic approach、 delayed resolveの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
6	6月4日	講義・演習	Diatonic approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
7	6月11日	講義・演習	dominant approach, alterd dominant approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
8	6月18日	講義・演習	セクションのトップラインの書き方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
9	6月25日	講義・演習	DAW上での打ち込み方	自分の曲で実践する
10	7月2日	講義・演習	管楽器、サックスの楽器について	音域等の確認
11	7月9日	講義・演習	ブラスセクションのシミュレーション	自分の曲で実践する
12	7月16日	講義・演習	オープンヴォイシングについて	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
13	8月27日	講義・演習	課題の作成	データの整理
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して編曲を学ぶ	授業で学んだことに基づいた音楽制作
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して編曲を学ぶ	授業で学んだことに基づいた音楽制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作編曲法 Advance (6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中山聡
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲家。提供実績（SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等　他多数）						
授業の学習内容	音楽理論に基づき正確に効率的に編曲ができるようにする。特に苦手に感じることが多いストリングスアレンジを中心にヴォイシング全般を講義する。またヴォーカルエディットなどデモクオリティーを向上させる。						
到達目標	Voicingを理解しストリングスセクションをつくることができるようする。ヴォーカルエディットなどデモクオリティーを向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	violin,viola,celloの音域、奏法	音域等の確認
2	10月15日	講義・演習	spreadの説明、実践、ローインターバルリミットの説明	音域等の確認
3	10月22日	講義・演習	トップラインからストリングスセクションを作成する。 トップラインの書き方の説明、スコア分析	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
4	10月29日	講義・演習	出来たトップラインに対して2.3.4声目をハーモナイズする	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
5	11月5日	講義・演習	strings sectionをdaw上でシミュレーションする際のテクニック、ヴォリュームカーブの書き方	自分の曲で実践する
6	11月12日	講義・演習	strings sectionまとめ 編成人数による音の違い、生レックの流れ	自分の曲で実践する
7	11月19日	講義・演習	本チャンでのvocal recの流れ、 ディレクションの仕方,セレクトの仕方	自分の曲で実践する
8	11月26日	講義・演習	テイクのトリートメント、ピッチ修正、コーラスパートのトリートメント、カーブの書き方	自分の曲で実践する
9	12月3日	講義・演習	コーラスアレンジ	自分の曲で実践する
10	12月10日	講義・演習	ドラムパートの打ち込みテクニックの説明、実践	自分の曲で実践する
11	12月17日	講義・演習	ベースパートの打ち込みテクニックの説明、実践	自分の曲で実践する
12	1月14日	講義・演習	楽器ダビングの際のディレクション、譜面の書き方等	自分の曲で実践する
13	1月21日	講義・演習	課題の作成	データの整理
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して編曲を学ぶ	授業で学んだことに基づいた音楽制作
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して編曲を学ぶ	授業で学んだことに基づいた音楽制作
準備学習　時間外学習			講義で学んだことを復習し、問題集の取り組みや、DAWを用いて編曲を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mixing Lab(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	音楽ミックスの基礎から応用までを学び、EQ、コンプレッション、リバーブ、パンニングなどの技術を実践的に習得する						
到達目標	音楽ミックスの基礎から応用までを習得し、実践的なスキルを身につけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	イントロダクション: ミキシングの基本概念と役割	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
2	4月21日	講義・演習	オーディオ信号の基礎: 波形、周波数、振幅	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
3	5月12日	講義・演習	DAW（デジタルオーディオワークステーション）の使い方:	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
4	5月19日	講義・演習	トラックのインポートと整理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
5	5月26日	講義・演習	リバーブとディレイの基礎	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
6	6月2日	講義・演習	リバーブとディレイの応用	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
7	6月9日	講義・演習	パンニングの基礎: ステレオイメージの作成	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
8	6月16日	講義・演習	パンニングの応用: ミックスのバランス調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
9	6月23日	講義・演習	ゲインステージング: 適切なレベル設定	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
10	6月30日	講義・演習	オートメーション: ダイナミックなミックスの作成	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
11	7月7日	講義・演習	サイドチェインコンプレッション: 特殊なダイナミクス処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
12	7月14日	講義・演習	エフェクトの基礎: モジュレーション、ディストーションなど	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
13	8月25日	講義・演習	エフェクトの応用: 創造的なエフェクト処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mixing Lab(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	音楽ミックスの基礎から応用までを学び、EQ、コンプレッション、リバーブ、パンニングなどの技術を実践的に習得する						
到達目標	音楽ミックスの基礎から応用までを習得し、実践的なスキルを身につけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ボーカルミキシング: ボーカルの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
2	10月13日	講義・演習	ドラムミキシング: ドラムキットの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
3	10月20日	講義・演習	ベースミキシング: ベースの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
4	10月27日	講義・演習	ギターミキシング: ギターの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
5	11月3日	講義・演習	シンセサイザーミキシング: シンセの処理と調整	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
6	11月10日	講義・演習	ミックスバス処理: マスターバスの処理	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
7	11月17日	講義・演習	リファレンスミックスの活用: 他のミックスとの比較	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
8	11月24日	講義・演習	ミックスのチェック: モニタリングと修正	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
9	12月1日	講義・演習	アナログ機器のシミュレーション	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
10	12月8日	講義・演習	サラウンドサウンドミキシング: 5.1や7.1のミックス技術	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
11	12月15日	講義・演習	フィールドレコーディングのミキシング	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
12	1月19日	講義・演習	フィールドレコーディングのミキシング	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
13	2月2日	講義・演習	リスナーの心理に基づいたミックス手法	配布資料の読解・プロジェクトファイルの確認
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してミキシングを学ぶ	授業で学んだことの復習・制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Media Creative Project(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	染川富和
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	多くのレコーディング制作に携わる。作詞、作曲、編曲家のマネージメント。						
授業の学習内容	チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディイング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割（作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど）に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	テーマ考案　企画書の作り方を学ぶ	レポート
2	4月25日	講義・演習	プレゼンテーションのためのPPTを学ぶ	レポート
3	5月9日	講義・演習	企画書作成　骨組みを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
4	5月16日	講義・演習	企画書作成　動機づけを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
5	5月23日	講義・演習	企画書作成　道筋を考える	企画テーマに基づき企画書の作成
6	5月30日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	企画テーマに基づき企画書の作成
7	6月6日	講義・演習	曲作りのためのチーム分けを行う	REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	6月13日	講義・演習	REC準備を行い、制作スケジュールを組む	曲作り、RECスタッフ、音楽家の手配など
9	6月20日	講義・演習	作詞を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
10	7月4日	講義・演習	作曲を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
11	7月11日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
12	7月18日	講義・演習	擬似レコーディングを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
13	8月22日	講義・演習	擬似ミックスを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Media Creative Project(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	染川富和
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴	多くのレコーディング制作に携わる。作詞、作曲、編曲家のマネージメント。						
授業の学習内容	【卒業制作】3年間学んだ集大成CDを作る授業。 チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディイング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割（作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど）に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	レコーディングを行う　Vo	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
2	10月10日	講義・演習	レコーディングを行う　Gt	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
3	10月17日	講義・演習	レコーディングを行う　Ba	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
4	10月31日	講義・演習	レコーディングを行う　Dr	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
5	11月7日	講義・演習	レコーディングを行う　Key	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
6	11月14日	講義・演習	レコーディングを行う　Cho	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
7	11月21日	講義・演習	レコーディングを行う　Em	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	11月28日	講義・演習	盤面デザインを考える	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
9	12月5日	講義・演習	楽曲イメージとデザインの相関性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
10	12月12日	講義・演習	楽曲の統一性、一貫性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
11	12月19日	講義・演習	マスタリングにおける一貫性について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
12	1月16日	講義・演習	マスタリングにおける音声修復について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
13	1月23日	講義・演習	マスタリングデータ、アートワークデータ納品を行う	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Sound make(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	シンセサイザーとは何か？の概要を理解する	リファレンスになる音を収集する
2	4月21日	講義・演習	オシレータの波形の種類と特徴を理解する	リファレンスになる音を収集する
3	5月12日	講義・演習	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する	リファレンスになる音を収集する
4	5月19日	講義・演習	Envelope Generatorのパラメータを実践する	リファレンスになる音を収集する
5	5月26日	講義・演習	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
6	6月2日	講義・演習	音高の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
7	6月9日	講義・演習	音高の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
8	6月16日	講義・演習	音色の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
9	6月23日	講義・演習	音量 の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
10	6月30日	講義・演習	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
11	7月7日	講義・演習	音程感の無い音の音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
12	7月14日	講義・演習	単音楽器ならではの表現が出来る様になる	リファレンスになる音を収集する
13	8月25日	講義・演習	PWMとサブオシレータを使いこなせる様になる	リファレンスになる音を収集する
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習　時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	

【使用教科書・教材・参考書】

シンセサイザーテクニック99

科目名	Sound make(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	数々のアーティストやゲームミュージックの作曲、プログラムを担当。CMやTVドラマなどの音楽でも活躍中。						
授業の学習内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	SuperSawの作り方と実践を学ぶ	リファレンスになる音を収集する
2	10月13日	講義・演習	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
3	10月20日	講義・演習	Oscillator Sync の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
4	10月27日	講義・演習	Ring Modulation の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
5	11月3日	講義・演習	Matrixによるフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
6	11月10日	講義・演習	リアルタイム・コントロールが出来る	リファレンスになる音を収集する
7	11月17日	講義・演習	Vocoderの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
8	11月24日	講義・演習	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
9	12月1日	講義・演習	エフェクターの概要を知り,基本的な効果を掛けられる	リファレンスになる音を収集する
10	12月8日	講義・演習	Delayの基本操作が出き,応用的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
11	12月15日	講義・演習	ダブリング系の効果を実践出来る	リファレンスになる音を収集する
12	1月12日	講義・演習	Delayを利用したフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
13	2月2日	講義・演習	Complessorの基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習　時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	

【使用教科書・教材・参考書】

シンセサイザーテクニック99

科目名	Mix Mastering実践A(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMIXとは・リスニングトレーニング	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	MIX種類別セッションを用いて概要説明	MIXする音源を準備・Protoolsの基本操作
4	5月21日	講義・演習	バランスの取り方・基礎	MIXする音源を準備・Protoolsの基本操作
5	5月28日	講義・演習	低音域(Kick,Bass)とボーカルの重要性・基礎	MIXする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit・基礎	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラッキング&MIX・基礎	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラッキング&MIX・基礎	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラッキング&MIX・基礎	MIXする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMIX・基礎	MIXする音源を準備
13	8月27日	講義・演習	楽曲に合う空間系の作り方・基礎	ここまでを踏まえたMIXを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
準備学習　時間外学習			アドバイスに基づいたMIXリテイク	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践A(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理・基礎	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ・基礎	MIXする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方・基礎	MIXする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方・基礎	MIXする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	MIXにおける位相や定位・セッションの最終調整・基礎	MIXする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方・基礎	MIXした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	MIXした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering・基礎	MIXした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践B(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMIXとは・リスニングトレーニング	目標とするMIX&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	MIX種類別セッションを用いて概要説明	MIXする音源を準備
4	5月21日	講義・演習	低音域(Kick,Bass)とボーカルの重要性	MIXする音源を準備
5	5月28日	講義・演習	バランスの取り方	MIXする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラッキング&MIX	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラッキング&MIX	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラッキング&MIX	MIXする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMIX	ボーカルトラックを準備
13	8月27日	講義・演習	空間系の作り方	ここまでを踏まえたMIXを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMIXを作る
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Mix Mastering実践B(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	若松利貴也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	MIX・Masteringエンジニア						
授業の学習内容	楽曲制作の最終段階であるMIXdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMIXdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ	MIXする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方	MIXする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方	MIXする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	MIXにおける位相や定位、セッションの最終調整	MIXする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	MIXdown実践	MIXする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方	MIXした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	MIXした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering	MIXした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	MIXした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動画撮影編集論(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画コンテンツの発信は最重要テーマの一つであり、常に映像や写真を記録する習慣を身に着け授業の制作に生かしていただきたい。前期は主に機材面を中心に、実際のシーンで多用される編集テクニックを習得していく。						
到達目標	より人の心に響く映像を作るための編集方法や映像理論、機材の基本を学ぶ。 特にカメラ機材の扱い方や設定をしっかり把握し、狙った通りのショットを撮影できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	事前資料を目を通す
2	4月26日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。動画形式/fps/解像度について述べることができる。	資料の確認
3	5月10日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。絞り/SS/ISO感度/WBについて述べることができる。	資料の確認
4	5月17日	講義・演習	スチル/動画それぞれ最適な機材設定を考察する。設定を理解し、実践することができる。	資料の確認
5	5月24日	講義・演習	パン、チルトなどの基本的なカメラワークと構図について学び、それらの説明ができる。	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	キーフレーム、エフェクトコントロールを学び、実践できる。	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	映像理論の基礎(各画角、構図による心理的影響)を理解できる。	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	映像理論の基礎(イマジナリーライン、モンタージュ論)を理解できる。	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	ストーリーボードの重要性を理解でき、作成方法を習得できる。	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	実際の映画、ドラマのシーンを鑑賞の上、手法を分析することができる。	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる。	資料の確認
12	8月23日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる。	資料の確認
13	8月30日	講義・演習	機材、理論に関するテストの実施	資料の確認
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

filmmaker's eye、映像制作スタンダードブック

科目名	動画撮影編集論(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画撮影や編集はクオリティに拘らなければ誰でも簡単に行える時代ではあるが、それ故コンテンツの飽和状態となり目を引くコンテンツにするには企画力や演出力がポイントとなる。後期は主にafter effectsによるより高度なテクニックを習得し、自身の動画コンテンツに活かせる映像を作成する。						
到達目標	after effectsの応用技術を身につける。身につけた技術やプログラミングで効率よく作業する方法を生かし、自身の映像コンテンツの企画制作に役立ててほしい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	after effectsの基本操作の確認。基本操作を理解し、実践できる。	事前資料を目を通す
2	10月11日	講義・演習	after effectsのレイヤーについて学ぶ。平面レイヤー、調整レイヤーについて理解し、実践できる。	資料の確認
3	10月18日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ。3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる。	資料の確認
4	11月1日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ。3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる。	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する。	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する。	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	モーショントラッキング機能を学ぶ。モーショントラッキングとは何かを把握し、実践することができる。	資料の確認
8	11月29日	講義・演習	After Effectsにおけるプログラミング(エクスプレッション)を理解、プログラミングできる。	資料の確認
9	12月6日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、wiggle、timeを設定することができる。	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、randomを設定することができる。	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、loopOutを設定することができる。	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、三角関数(sin、cos)を設定することができる。	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	課題として時間内に所定の映像を作成する	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動画撮影編集論 Adv.(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	After Effectsを使用し、高度なテキストアニメーションなど実践的な編集方法を学ぶ。 また演出的観点からカラー編集の基礎を学び、カラーコレクションやカラーグレーディングなどを理解できるようにする。						
到達目標	自分の楽曲を用いてリリックビデオないしMVを制作し、外部公開を行う						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	資料の確認
2	4月26日	講義・演習	動画編集とプログラミングの関係	RAWファイルの用意
3	5月10日	講義・演習	After Effects時短術～スクリプト～	log撮影されたファイルの用意
4	5月17日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション （1）	log撮影されたファイルの用意
5	5月24日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション （2）	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション （3）	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	エクスプレッション基礎振り返り	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	エクスプレッション応用(1)	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	エクスプレッション応用(2)	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	エクスプレッション応用(3)	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	エクスプレッション応用(4)	資料の確認
12	8月23日	講義・演習	エクスプレッション応用(5)	資料の確認
13	8月30日	講義・演習	制作に関するテストの実施	資料の確認
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	資料の確認
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	資料の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ゼロからのAfter Effectsエクスプレッション奮闘記、After Effectsでつくるロゴアニメーション

科目名	動画撮影編集論 Adv.(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がける。また2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習内容	After Effectsで映像を作る上で、効率的な作業は必須となる。 それに最も貢献するのがショートカットキーのマスターと、この授業で行うエクスプレッションの活用である。 JavaScriptをベースにしたAfter Effects用のプログラミングで、これを理解・活用できるか否かで作業効率に大幅な違いが生まれ、表現の幅も広がる。ここではプログラミングを取り入れて動画編集を行い、作業効率も追及して動画のクオリティを高める方法を学ぶ。						
到達目標	自分の楽曲を用いてリリックビデオないしMVを制作し、外部公開を行う						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(1)	資料の確認
2	10月11日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(2)	資料の確認
3	10月18日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(3)	資料の確認
4	11月1日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(4)	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(5)	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(6)	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(1)	制作する映像の参考にするためのリサーチ
8	11月29日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(2)	ストーリーボード
9	12月6日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(3)	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(4)	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(5)	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(6)	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	制作した映像の講評会	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても 問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	資料の確認
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても 問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	資料の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	エンターテック概論(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		

教員の略歴	インターネット広告代理店にてWEBメディア制作や運営に従事後音楽事務所にてアーティスト公式サイト制作やWEBプロモーションに携わる。現在も制作からデジタル広告運用までデジタル領域の幅広い分野に携わる。
授業の学習内容	コンテンツ制作、そしてマーケティングの視点で考えたとき、プログラミングが大いに役に立つ。 例えば映像制作ではエクスプレッション、YouTubeマーケティングではGASを利用してデータを取得することなどがそれにあたる。 上記2つはいずれもWEBでも使われるJavaScriptがベースになっている。 初学者にも学習しやすいJavaScriptを学び、それを映像制作やマーケティング分野に転用できるスキルを身につける。
到達目標	汎用性が高いJavaScriptでのプログラミングスキルを、映像制作やマーケティングなど分野に転用し活用できるようにする。
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	
2	4月26日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (1)	資料の確認
3	5月10日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (2)	資料の確認
4	5月17日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (3)	資料の確認
5	5月24日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (4)	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(1)	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(2)	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(3)	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(4)	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(5)	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(6)	APIを利用するためのアクセストークンなどの準備
12	8月23日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(7)	APIを利用するためのアクセストークンなどの準備
13	8月30日	講義・演習	プログラミングに関するテストの実施	レポート
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプログラミングを活用して効率的な作業の思考を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してプログラミングを活用して効率的な作業の思考を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

JavaScriptコードレシピ集、Google Apps Script完全入門

科目名	エンターテック概論(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	インターネット広告代理店にてWEBメディア制作や運営に従事後音楽事務所にてアーティスト公式サイト制作やWEBプロモーションに携わる。現在も制作からデジタル広告運用までデジタル領域の幅広い分野に携わる。						
授業の学習内容	エンターテインメントを取り巻く環境は日進月歩で大きく進化している。 特に今年爆発的に広がりを見せているOpenAI社のChatGPTなど創造性を持ったAIサービスと人間がどう対峙していくかの分岐点にある。新しい技術に常にアンテナを張り巡らせ、自分はどう活用するかを考えなければいけない時代になっている。本授業ではAI、ブロックチェーン(NFT)、メタバース、ドローン、5Gなど音楽・エンターテインメント業界にも深い関わりがあるこれらの技術の概要を掴んでいく。						
到達目標	新しい技術の概要をつかむだけでなく、新しいプロモーション手法やビジネスモデルを創造する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(1)	プログラミングの基礎の復習
2	10月11日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(2)	プログラミングの基礎の復習
3	10月18日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(3)	プログラミングの基礎の復習
4	11月1日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(4)	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	ChatGPTや付随するソフトウェアの活用検証	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	ドローンを用いた撮影手法と法律、シミュレーター操作	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	ブロックチェーン概論	資料の確認
8	11月29日	講義・演習	NFTの基礎とエンターテインメントでの活用	資料の確認
9	12月6日	講義・演習	メタバースという概念とエンターテインメントとの関係性について	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	VR端末(meta quest)を利用し活用方法を検証する	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	日本と世界を取り巻くエンターテインメントの未来	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	新たなエンタメビジネスモデルの考察	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	最終課題としてプレゼンテーション	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してこれらの技術を活用してどう展開できるかを学ぶ	レポート
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してこれらの技術を活用してどう展開できるかを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

Marketing Python、メタバースとは何か、NFTの教科書、ドローンビジネス、AIの教科書、メタバース未来戦略、推しエコノミー　など

科目名	Piano Duo(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	橋元：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導も行っている 田中：サポートキーボーディストとして、SUMMER SONIC2016前夜祭、NAON NO YAONなどに出演。						
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。						
到達目標	1つの楽曲を歌う中で演奏のリードができる。曲の始まり、終わり方など簡単な演奏のアレンジや相談が問題なくできるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	演奏の練習
2	4月24日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	フィードバックにより各自の課題に取り組む
3	5月8日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	新しい課題曲の練習、研究
4	5月15日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	5月22日	講義・演習	演奏のリードに挑戦する	新しい課題曲の練習、研究
6	5月29日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに挑戦する	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	6月5日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	新しい課題曲の練習、研究
8	6月12日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	6月19日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、研究
10	7月3日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	7月10日	講義・演習	演奏の中で前期の課題を全て行う	新しい課題曲の練習、研究
12	7月17日	講義・演習	前期の課題にパフォーマンスを加える	各自課題曲を選曲、自身の課題に沿って練習
13	8月21日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	橋元：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導も行っている 田中：サポートキーボーディストとして、SUMMER SONIC2016前夜祭、NAON NO YAONなどに出演。						
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。最終的にはピアノと息の合った演奏が出来る上で、自身の個性と楽曲に合わせた表現、パフォーマンスが出来るようになってほしい。						
到達目標	高い水準の楽曲でも、柔軟に演奏中の会話、パフォーマンスが出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	16分音符が多い楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、研究
2	10月16日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
3	10月30日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
4	11月6日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	11月13日	講義・演習	3拍子の楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
6	11月20日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	11月27日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画。
8	12月4日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	12月11日	講義・演習	難しい曲でのアレンジ、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
10	12月18日	講義・演習	難しい曲で演奏中の指示出し、表現に挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	1月15日	講義・演習	1曲の演奏の中で後期の課題を行う	各自演奏曲を選曲、自身の課題に沿って練習
12	1月22日	講義・演習	パフォーマンスを加えリハーサル	各自前回のフィードバックに沿って練習
13	2月5日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月24日	講義・演習	学校間交流授業準備	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月8日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月15日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月22日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
6	5月29日	講義・演習	自己PR方法を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月5日	講義・演習	ジャンル毎のリズムパターンを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月12日	講義・演習	ジャンル毎のリズムパターンを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月19日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月3日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月10日	講義・演習	楽曲のRemixに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月17日	講義・演習	楽曲のRemixに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月21日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Compose(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月16日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月30日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
4	11月6日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月13日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月20日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月27日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月4日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月11日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月18日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月15日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月22日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月5日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Recording(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	デジタルレコーディングとは？	身の回りのデジタル録音
2	4月25日	講義・演習	デジタル化のしくみ、A/D　D/Aコンバーター、サンプリング周波数ビット数とエイリアスと倍音	自分の機材を知る
3	5月9日	講義・演習	各種フォーマット、S/PDIF、AES/EBU 、コアキシャル、オプティカル、圧縮フォーマット	保存、接続、読み取り、書き出し
4	5月16日	講義・演習	だまされずにカタログを読む、f特、ダイナミックレンジ、THD+N、ワードクロックの問題	カタログを読み解く
5	5月23日	講義・演習	MacとWin、ノートとデスクトップ、ハードウェア構成の問題、ソフトアップデートの問題、自分のシステムを考える、	最適な構成を考える
6	5月30日	講義・演習	他のシステムとの連携、互換、OMF、AAF、SMF	データ互換
7	6月6日	講義・演習	MIXの基本、リズムの修正、スライス、エラスティック	反復練習
8	6月13日	講義・演習	エフェクト処理の基本、オートメーション、編集作業	反復練習
9	6月20日	講義・演習	ステムミックス、パラレルミックス	反復練習
10	7月4日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、オートモード）	反復練習
11	7月11日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、グラフィックモード1）	反復練習
12	7月18日	講義・演習	ピッチ修正（オートチューン、グラフィックモード2、その他のソフト）	試験対策まとめ
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ、前期試験	完全解答作成
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Recording(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ボーカル録音1、レイテンシー、リフレクションフィルター	間違い探し1
2	10月10日	講義・演習	ボーカル録音2、インプットミキサー、チャンネルストリップ	間違い探し2
3	10月17日	講義・演習	アコースティックギター録音、バミリ、ディレクション	間違い探し3
4	10月31日	講義・演習	エレキギター録音1、ユニゾンテクノロジー、プラグイン処理	反復練習
5	11月7日	講義・演習	エレキギター録音2、スピーカーシミュレーター、多くの方法の比較、歪み系エフェクター	反復練習
6	11月14日	講義・演習	アナログ感と歪み1、歪みとレコーディングと音楽発展の歴史	反復練習
7	11月21日	講義・演習	アナログ感と歪み2、プラグイン処理、リアンプ	反復練習
8	11月28日	講義・演習	マスタリング1、DAWプラグイン、AI処理	反復練習
9	12月5日	講義・演習	マスタリング2、WaveLab、ISRC、JAN	反復練習
10	12月12日	講義・演習	ノイズ対策、アナログ部分、デジタル部分、ノイズ除去、	反復練習
11	12月19日	講義・演習	総合実習1（色）	表現力考察
12	1月16日	講義・演習	総合実習2（国）	試験対策まとめ
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ、後期試験	完全解答作成
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、60万人超登録を持つダンスYouTuber「REAL AKIBA BOYZ」のプロデューサー兼プレイヤーとしてフロントマンとしても活動している。						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	5月13日	講義・演習	SNS戦略論	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	5月20日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	5月27日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	6月3日	講義・演習	第1弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	6月10日	講義・演習	炎上対策	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	6月17日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	6月24日	講義・演習	第1弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	7月1日	講義・演習	第1弾　アナリティクスを読み解こう	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	7月8日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	7月15日	講義・演習	第2弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	7月22日	講義・演習	第2弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	8月26日	講義・演習	前期振り返り	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	9月9日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	9月16日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アバター配信運営(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	榊原敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ISARIBI株式会社ほかエンタメ関連企業の取締役のほか、登録者数60万人超のYouTuberグループリーダーを務める						
授業の学習内容	TSM公式教材型Vtuberの配信活動をメインに企画・制作・運営を実践的に学ぶ						
到達目標	受講者それぞれが独自の活動においても、ビジネスを視野に入れた配信活動やタレントマネジメントスキルを身につける事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	オリエンテーション	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
2	10月21日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
3	10月28日	講義・演習	第3弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
4	11月4日	講義・演習	各種SNSの違い	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
5	11月11日	講義・演習	他アカウント＆動画の分析-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
6	11月18日	講義・演習	第3弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-3	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
7	11月25日	講義・演習	第3弾　アナリティクスを読み解こう 第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-1	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
8	12月2日	講義・演習	第4弾　戦略に沿って企画を考案しよう-2	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
9	12月9日	講義・演習	第4弾　投稿文章を考えよう＆投稿してみよう 他アカウント＆動画の分析-4	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
10	12月16日	講義・演習	イベント演習１	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
11	1月13日	講義・演習	イベント演習２	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
12	1月20日	講義・演習	イベント演習３	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
13	2月3日	講義・演習	イベント演習４	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
14	2月10日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する
15	2月17日	講義・演習	後期の配信計画についてミーティング	学んだ内容を自身の活動に活かせる様復習する□
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	AT-REC(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経て、様々なジャンルでフリーランスエンジニアをしています。						
授業の学習内容	スタジオ□/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ□管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおいての進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	スタジオ□機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、基礎的な録音機器の仕組み、 現代的な録音への理解
2	5月13日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎	前回までの□理解力の確認
3	5月20日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月27日	講義・演習	f特、ダイナミックレンジ、THD+N、デジタル機器への理解	前回までの□理解力の確認
5	6月3日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
6	6月10日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
7	6月17日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
8	6月24日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
9	7月1日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
10	7月8日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
11	7月15日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
12	7月22日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
13	8月26日	講義・演習	ゲスト ミュージシャン□□参加の実践的な REC/MIX	ゲスト の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□□ イメージを□持つ
14	9月9日	講義・演習	アナログレコーソールやマイクの□特性アウトボード の□□基礎の 再確認	前回までの□理解力の確認
15	9月16日	講義・演習	前記分復習及び□問題点の整理	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

レコーディングスタジオ内　常設機材

科目名	AT-REC(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経て、様々なジャンルでフリーランスエンジニアをしています。						
授業の学習内容	スタジオ□/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1)録音技術の習得 2)ミキシング□技術の習得 3)マスタリング□技術の習得 4)データ□管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおいての進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
2	10月21日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
3	10月28日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
4	11月4日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
5	11月11日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
6	11月18日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
7	11月25日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
8	12月2日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
9	12月9日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
10	12月16日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
11	1月13日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
12	1月20日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
13	2月3日	講義・演習	後記分復習及び□問題点の整理	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
14	2月10日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
15	2月17日	講義・演習	ｹﾞｽﾄ ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ□□参加の実践的な REC/MIX	ｹﾞｽﾄ の□録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングの□イメージを□持つ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

レコーディングスタジオ内　常設機材

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。 遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth（1）	課題曲各パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth（2）	課題曲各パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。 遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。 遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth（1）	課題曲各パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth（2）	課題曲各パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。 遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷　斉 近藤 寿 キム・ゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。2004～ 2006年オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入。欧米ツアーを経験。 SMAP、テゴマス、BoA、ゴスペラーズほか、数多くのコンサートサポートも務める。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	ボーカルや楽器プレーヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレーヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレーヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷　斉 近藤 寿 キム・ゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。2004～ 2006年オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入。欧米ツアーを経験。 SMAP、テゴマス、BoA、ゴスペラーズほか、数多くのコンサートサポートも務める。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーモニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷　斉 近藤 寿 キム・ゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。2004～ 2006年オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入。欧米ツアーを経験。 SMAP、テゴマス、BoA、ゴスペラーズほか、数多くのコンサートサポートも務める。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	ボーカルや楽器プレーヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレーヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレーヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷　斉 近藤 寿 キム・ゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。2004～ 2006年オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入。欧米ツアーを経験。 SMAP、テゴマス、BoA、ゴスペラーズほか、数多くのコンサートサポートも務める。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーモニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Inst Ensemble(5)口	必修選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル）を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
2	5月13日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week2の予習。
3	5月20日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
4	5月27日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week3の予習。
5	6月3日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
6	6月10日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week4の予習。
7	6月17日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
8	6月24日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week5の予習。
9	7月1日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
10	7月8日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week6の予習。
11	7月15日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
12	7月22日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week7の予習。
13	8月26日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	Inst Ensemble(6)口	必修選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル）を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week8の予習。
2	10月21日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
3	10月28日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week9の予習。
4	11月4日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
5	11月11日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week10の予習。
6	11月18日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
7	11月25日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week11の予習。
8	12月2日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
9	12月9日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week12の予習。
10	12月16日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
11	1月13日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week13の予習。
12	1月20日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
13	2月3日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	Gospel Ensemble(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel Ensemble(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月12日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Broadway Seminar(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	吉田華奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。ミュージカルRENT出演。ミュージカルの歌唱指導も担当している。						
授業の学習内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業内容と目的の説明、ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの予習
2	4月21日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、感情の開放ゲーム	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
3	5月12日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
4	5月19日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム説明	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
5	5月26日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム発表	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ/ポエム
6	6月2日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
7	6月9日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカルを調べ発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク
8	6月16日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ポエム発表	曲復習/ポエム
9	6月23日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
10	6月30日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
11	7月7日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
12	7月14日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
13	8月25日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Broadway Seminar(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	吉田華奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。ミュージカルRENT出演。ミュージカルの歌唱指導も担当している。						
授業の学習内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
2	10月13日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
3	10月20日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
4	10月27日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
5	11月3日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
6	11月10日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
7	11月17日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、グループ曲発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク/ポエム
8	11月24日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカル、ポエム発表	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
9	12月1日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
10	12月8日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
11	12月15日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
12	1月12日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
13	2月2日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Recording Chorus Work(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤章裕
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター。今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当。						
授業の学習内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。 レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、 『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』　このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを理解、体感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	チーム構成、基礎知識、キックオフ	基礎知識復習
2	4月21日	講義・演習	REC体験	基礎知識復習
3	5月12日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習
4	5月19日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
5	5月26日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
6	6月2日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
7	6月9日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
8	6月16日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
9	6月23日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
10	6月30日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
11	7月7日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
12	7月14日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
13	8月25日	講義・演習	本番REC	実践
14	9月8日	講義・演習	本番REC	実践
15	9月15日	講義・演習	前期リフレクション	セルフ・チームリフレクション
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Recording Chorus Work(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤 章裕
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター。今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当。						
授業の学習内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。 レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、 『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』　このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを体得、実践すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	本番RECリフレクション	本番RECセルフリフレクション
2	10月13日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
3	10月20日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
4	10月27日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
5	11月3日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
6	11月10日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
7	11月17日	講義・演習	本番REC準備ミーティング	振り返り
8	11月24日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
9	12月1日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
10	12月8日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
11	12月15日	講義・演習	本番REC	振り返り
12	1月12日	講義・演習	本番REC	振り返り
13	2月2日	講義・演習	本番REC	振り返り
14	2月9日	講義・演習	本番REC	振り返り
15	2月16日	講義・演習	ラストリフレクション	振り返り
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	BIGBAND(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	大編成の中で演奏し体験する	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	4月26日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月10日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月17日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月24日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	5月31日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月7日	講義・演習	コード理論（ダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月14日	講義・演習	コード理論（ノンダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月21日	講義・演習	スケールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月5日	講義・演習	コードから作れるフレーズを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月12日	講義・演習	楽曲の構成組み立てを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	8月23日	講義・演習	アドリブやセッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月30日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習□	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプレーヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	BIGBAND(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	アンサンブルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月11日	講義・演習	指揮の見方読み取り方を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月18日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	11月1日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月8日	講義・演習	演奏におけるコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月15日	講義・演習	コールアンドレスポンスの自発的な発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月22日	講義・演習	クラシック音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月29日	講義・演習	Jazz音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月6日	講義・演習	映画音楽を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月13日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月20日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月17日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月24日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Repair Basic（5）	必修選択	選択	年次	3	担当教員	志村昭三
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	トランザムのギタリストとしてデビュー。後にダンカン・ギターのプロデュースやリペアマンの経験を経て、音楽学校の講師として後進の育成に努めると同時に、数多くのトップアーティストのギターテックとしてツアーやレコーディングに参加。						
授業の学習内容	リペアマンになる為の動作・対応力・技術力・センスを得る実技をおこなう						
到達目標	エレトリックギターやエレトリックベース等の音が出る仕組みを理解し、ギターサウンドナイキングやボディ形状やヘッド形状のデザインを行える技術を習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アッセンブリ・バラシ・組立について理解する	MY楽器及びリペア楽器持参
2	4月25日	講義・演習	アッセンブリ・バラシ・組立ての実践	MY楽器及びリペア楽器持参
3	5月9日	講義・演習	PV交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
4	5月16日	講義・演習	PV交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
5	5月23日	講義・演習	ポット交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
6	5月30日	講義・演習	ポット交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
7	6月6日	講義・演習	ジャック交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
8	6月13日	講義・演習	ジャック交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
9	6月20日	講義・演習	PG作業①	MY楽器及びリペア楽器持参
10	7月4日	講義・演習	PG作業②	MY楽器及びリペア楽器持参
11	7月11日	講義・演習	PG作業③	MY楽器及びリペア楽器持参
12	7月18日	講義・演習	PG作業④	MY楽器及びリペア楽器持参
13	8月22日	講義・演習	PG作業⑤/前期テスト	MY楽器及びリペア楽器持参
14	8月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ	レポート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			弦楽器の仕組みを知り、部品について学ぶ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Repair Basic（6）	必修選択	選択	年次	3	担当教員	志村昭三
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	トランザムのギタリストとしてデビュー。後にダンカン・ギターのプロデュースやリペアマンの経験を経て、音楽学校の講師として後進の育成に努めると同時に、数多くのトップアーティストのギターテックとしてツアーやレコーディングに参加。						
授業の学習内容	エレキギター・アコースティックギター・エレキベース、その他の弦楽器に対して何らかのをほどこす事により、よりよい状態にもっていくその技術とノウハウを学習する						
到達目標	リペアならびにセットアッパー・ギターテクニシャンになるためのスキルを身に付けさせ、自身の技術力を自分で引き上げてゆくやり方を理解させ応用してゆく追求心をつける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ナット交換の為の予備知識の理解	前期の復習
2	10月10日	講義・演習	フレット＆ネット交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
3	10月17日	講義・演習	フレット＆ネット交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
4	10月31日	講義・演習	フレット＆ネット交換③	MY楽器及びリペア楽器持参
5	11月7日	講義・演習	フレット＆ネット交換④	MY楽器及びリペア楽器持参
6	11月14日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑤	MY楽器及びリペア楽器持参
7	11月21日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑥	MY楽器及びリペア楽器持参
8	11月28日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑥	MY楽器及びリペア楽器持参
9	12月5日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑦	MY楽器及びリペア楽器持参
10	12月12日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑧	MY楽器及びリペア楽器持参
11	12月19日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑨	MY楽器及びリペア楽器持参
12	1月16日	講義・演習	組み込み完了	MY楽器及びリペア楽器持参
13	1月23日	講義・演習	後期試験	MY楽器及びリペア楽器持参
14	1月30日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してリペアマンの現場を学ぶ	レポート
15	2月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してリペアマンの現場を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			前期で学んだ事を生かし、自分の持っている楽器をリペアしてみる	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(5) Gt Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	北島優一
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ギタリスト。アーティストのライブツアーサポート、レコーディング、TVなどでの演奏。MISIA、NEWS、鈴木愛理、CNBLUEなど						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
2	5月13日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
3	5月20日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
4	5月27日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
5	6月3日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
6	6月10日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
7	6月17日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
8	6月24日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
9	7月1日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論（スケールなど）	基礎トレーニング
10	7月8日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
11	7月15日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
12	7月22日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
13	8月26日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
14	9月9日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
15	9月16日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎運指練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(5) Key Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	4月21日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	5月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	5月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	5月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	6月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	6月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	6月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	6月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	6月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	7月7日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	7月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(5) Dr Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	奥出矢
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、 T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	4月21日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	5月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	5月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	5月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	6月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	6月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	6月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	6月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	6月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	7月7日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	7月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(5) Vocal Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	吉田華奈 潤豊 キムゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	事前課題曲練習
2	4月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
3	5月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
12	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
13	8月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(6) Gt Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	北島優一
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギタリスト。アーティストのライブツアーサポート、レコーディング、TVなどでの演奏。MISIA、NEWS、鈴木愛理、CNBLUEなど						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
2	10月21日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
3	10月28日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
4	11月4日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
5	11月11日	講義・演習	応用トレーニング(1)・質疑応答	基礎トレーニング
6	11月18日	講義・演習	応用トレーニング(2)・質疑応答	基礎トレーニング
7	11月25日	講義・演習	応用トレーニング(3)・質疑応答	基礎トレーニング
8	12月2日	講義・演習	応用トレーニング(4)・質疑応答	基礎トレーニング
9	12月9日	講義・演習	応用トレーニング(5)・質疑応答	基礎トレーニング
10	12月16日	講義・演習	応用トレーニング(6)・質疑応答	基礎トレーニング
11	1月13日	講義・演習	応用トレーニング(7)・質疑応答	基礎トレーニング
12	1月20日	講義・演習	応用トレーニング(8)・質疑応答	基礎トレーニング
13	2月3日	講義・演習	応用トレーニング(9)・質疑応答	基礎トレーニング
14	2月10日	講義・演習	応用トレーニング(10)・質疑応答	基礎トレーニング
15	2月17日	講義・演習	応用トレーニング(11)・質疑応答	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎トレーニング	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(6) Key Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	10月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	10月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	10月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	11月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	11月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	11月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	11月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	12月1日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	12月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	12月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	1月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(6) Dr Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	奥出矢
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、 T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	10月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	10月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	10月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	11月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	11月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	11月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	11月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	12月1日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	12月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	12月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	1月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(6) Vocal Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	吉田華奈 潤豊 キムゴンヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月15日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月12日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月2日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Master Class Seminar(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	池末 信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	①基礎的歌唱力の向 ②表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス。 様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます。						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介、自分の音楽的長所と短所の分析	クラス内発表曲準備
2	4月21日	講義・演習	クラス内発表会	基礎曲練習
3	5月12日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/前期発表会で何を発揮したいか	基礎曲練習/自由課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	前期発表会の曲決定	発表会準備
12	7月14日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
13	8月25日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Master Class Seminar(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	池末 信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	①基礎的歌唱力の向 ②表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス。 様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます。						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期発表会のリフレクションと後期の目標設定	課題曲の選曲
2	10月13日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
4	10月27日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
5	11月3日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
6	11月10日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
7	11月17日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
8	11月24日	講義・演習	後期発表会の曲決定	発表会準備
9	12月1日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
10	12月8日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
11	12月15日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
12	1月12日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
13	2月2日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽制作概論(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。						
到達目標	過去2年間で習得した、制作作業の正確さ、緻密さ、制作スピードに加えコンセプトワークを基礎とし、音楽制作者として「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	年度末までの目標設定/グループ分け	ワークシート
2	4月21日	講義・演習	制作コンセプト、サウンドコンセプトのチェック	ワークシート
3	5月12日	講義・演習	企画書作成の基礎知識	ワークシート
4	5月19日	講義・演習	グループ毎に企画書のチェック	ワークシート
5	5月26日	講義・演習	制作報告M―ティング（メロディー編）	ワークシート
6	6月2日	講義・演習	制作報告M―ティング（アレンジ編）	ワークシート
7	6月9日	講義・演習	制作報告M―ティング（Edit編）	ワークシート
8	6月16日	講義・演習	制作報告M―ティング（スコア編）	ワークシート
9	6月23日	講義・演習	制作報告M―ティング（歌詞編）	ワークシート
10	6月30日	講義・演習	制作報告M―ティング（構成編）	ワークシート
11	7月7日	講義・演習	制作報告M―ティング（Mix編）	ワークシート
12	7月14日	講義・演習	制作報告M―ティング（マスタリング編）	ワークシート
13	8月25日	講義・演習	前期総括と後期目標提示	ワークシート
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽制作概論(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	元シンコー・ミュージックステージプロデューサー、レコーディングプロデューサー。レベッカやプリンセス・プリンセスなどを担当。原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動。						
授業の学習内容	前期同様「卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。」に加えコンセプトワークに基づいたビジュアル制作を含め習得する。						
到達目標	前半は楽曲制作、スタジオワークが中心となるが、年末よりCDパッケージ制作に以降する。 音楽制作者としてビジュアル面も含め、「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の目標提示と各締切の確認	ワークシート
2	10月13日	講義・演習	制作報告M―ティング（曲タイトル編）	ワークシート
3	10月20日	講義・演習	制作報告M―ティング（アルバムタイトル編）	ワークシート
4	10月27日	講義・演習	制作報告M―ティング（曲毎のクレジット編）	ワークシート
5	11月3日	講義・演習	制作報告M―ティング（トータルクレジット編）	ワークシート
6	11月10日	講義・演習	制作報告M―ティング（ビジュアル編）	ワークシート
7	11月17日	講義・演習	グループ毎にマスターデータの確認	ワークシート
8	11月24日	講義・演習	グループ毎にブックレットデータの確認	ワークシート
9	12月1日	講義・演習	グループ毎にバックカバーデータの確認	ワークシート
10	12月8日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの確認	ワークシート
11	12月15日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの入稿	ワークシート
12	1月12日	講義・演習	グループ毎にレーベルデータの確認	ワークシート
13	2月2日	講義・演習	グループ毎にパッケージ作業	ワークシート
14	2月9日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して音楽制作を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Theory&Analysis(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	潤豊 金子勝洋
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	潤：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 金子：バークリー音楽大学卒、2008年作家事務所SUPALOVEに所属。2019年独立。						
授業の学習内容	音楽理論、アナライズ（分析）、聴き取り、スコアライティングの学習を通して、 作曲・編曲・演奏（歌唱）をする為の音楽家力を高めます。						
到達目標	基礎であるコード、度数、メジャーダイアトニックを理解する。 シンプルな既存曲を自身でアナライズし理解した上で、自身の作曲およびプロデュースに活かせる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	メジャー・マイナーコード	授業内容の復習
2	5月7日	講義・演習	メジャースケール・調・調号	授業内容の復習
3	5月14日	講義・演習	スコアライティング①	授業内容の復習
4	5月21日	講義・演習	スコアライティング②	授業内容の復習
5	5月28日	講義・演習	音程①	授業内容の復習
6	6月4日	講義・演習	音程②	授業内容の復習
7	6月11日	講義・演習	音程③ 音程の転回。三和音	授業内容の復習
8	6月18日	講義・演習	ダイアトニックコード①	授業内容の復習
9	6月25日	講義・演習	ダイアトニックコード②	授業内容の復習
10	7月2日	講義・演習	ドミナントモーション・機能	授業内容の復習
11	7月9日	講義・演習	機能と終止、カデンツ①	授業内容の復習
12	7月16日	講義・演習	機能と終止、カデンツ②	授業内容の復習
13	8月27日	講義・演習	２－５－１	授業内容の復習
14	9月10日	講義・演習	授業の振り返り	レポート
15	9月17日	講義・演習	授業の振り返り	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Theory&Analysis(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	潤豊 金子勝洋
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	潤：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 金子：バークリー音楽大学卒、2008年作家事務所SUPALOVEに所属。2019年独立。						
授業の学習内容	音楽理論、アナライズ（分析）、聴き取り、スコアライティングの学習を通して、 作曲・編曲・演奏（歌唱）をする為の音楽家力を高めます。						
到達目標	基礎であるコード、度数、メジャーダイアトニックを理解する。 シンプルな既存曲を自身でアナライズし理解した上で、自身の作曲およびプロデュースに活かせる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・実習	メジャー・マイナーコード	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
2	10月15日	講義・実習	メジャースケール・調・調号	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
3	10月22日	講義・実習	スコアライティング①	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
4	10月29日	講義・実習	スコアライティング②	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
5	11月5日	講義・実習	音程①	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
6	11月12日	講義・実習	音程②	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
7	11月19日	講義・実習	音程③ 音程の転回。三和音	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
8	11月26日	講義・実習	ダイアトニックコード①	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
9	12月3日	講義・実習	ダイアトニックコード②	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
10	12月10日	講義・実習	ドミナントモーション・機能	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
11	12月17日	講義・実習	機能と終止、カデンツ①	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
12	1月14日	講義・実習	機能と終止、カデンツ②	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
13	1月21日	講義・実習	２－５－１	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
14	2月4日	講義・実習	イベント実践を通して実習を学ぶ	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
15	2月11日	講義・実習	イベント実践を通して実習を学ぶ	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
準備学習　時間外学習			音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習	

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成による教科書、　持ち物：筆記用具、五線紙